

ナースセンター事業報告

ナースセンター課

令和6年度ナースセンター事業実績

事業名	事業	事業目的	事業内容	令和6年度事業目標
ナースバンク事業	看護職員無料職業紹介事業	未就業看護職員の就業を促進することにより、求人求職双方の需要に応じ、看護職員不足の解消に寄与することを目的とする	1) 求職者および求人施設の就職相談、職業紹介、就職支援 2) 本所・支所（長岡・上越）・相談窓口（南魚沼・柏崎）との連携 3) 進学相談 4) 登録者への継続支援（6か月毎） 5) 看護師等免許保持者の届出制度 6) 他関係機関との連携	1) 就職者数の減少傾向に対して、登録者への働きかけを強化し前年度実績を維持する 2) 多様化・複雑化している事例に対し、丁寧に対応し相談件数を維持する
				周知方法を検討し前年並みの登録件数を維持する
	実態調査	【看護職員需要施設実態調査】 県内に住所を有する看護職員の需要施設の実態を調査し、需要施設の充足を図ると共に、未就業看護職員の就業を促進することを目的とする	看護職員需要施設実態調査	1) 各施設における離職・欠員状況を把握する 2) プラチナ世代及び中途採用者の雇用状況を把握する 3) 看護職員確保状況と取り組み及びナースセンターの利用に関するニーズを把握する
		【未就業看護職員実態調査】 県内に住所を有する未就業看護職員の実態を調査し、未就業看護職員の就業を促進する	未就業看護職員実態調査	—
	再就業移動相談事業	ナースセンターから遠い地域に在住する就業希望者のために、県内のハローワークに出向き相談を行うことにより再就職を促進することを目的とする	関係機関と連携した出張相談	求職者のニーズに合った相談の実施
	広報	県内に住所を有する看護職員に医学及び看護に関する最新情報を提供し、未就業看護職員の就業を促進することを目的とする	ナースセンターだよりの発行 年1回1月発行	2月発行・発送

および令和7年度取り組み目標

令和4・5・6年度実績					令和7年度計画	
項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年増減	指標	取り組み目標
求職登録者数（人）	2,530	2,651	2,825	174	－	1) ナースセンターの役割や活動の周知、参加しやすい再就職セミナーの開催を通して、利用者増を目指す 2) 丁寧な相談対応と相談員のスキルアップに努め、より対象にあった再就職を支援する
求職登録者数（月平均）	2,473	2,614	2,769	155	－	
うち有効登録者数（月平均）	201	297	266	-31	－	
新規登録者数（人）	522	439	430	-9	450	
求人登録者数（人）	843	901	1,024	123	－	
求人登録者数（月平均）	876	864	875	11	－	
当月新規求人件数	500	527	463	-64	490	
求人倍率（月平均）（倍）	4.42	2.93	3.31	0.38	－	
求職相談件数（件）	6,190	6,043	5,727	-316	6,000	
求人相談件数（件）	3,290	3,610	3,412	-198	3,600	
見学設定件数（件）	－	－	377	－	390	
就職者数（人）	410	372	358	-14	375	
常勤	135	129	117	-12	125	
非常勤	217	178	193	15	200	
臨時	58	65	48	-17	50	
届出登録数（件）	537	441	441	0	450	周知方法を工夫し、届出件数の増加を目指す
個人登録	200	226	206	-20	210	
施設代行登録	131	64	79	15	90	
ナースセンター代理登録	206	151	156	5	150	
調査対象施設数（件）	1,869		1,867	-2		未就業看護職員調査の実施 1) 未就業看護職の退職理由と再就職で必要としている内容を把握し、再就職支援のための基礎資料とする 2) 求職者が利用している求人情報または職業紹介所についてとナースセンターに希望する内容を把握し利用しやすい体制構築への基礎資料とする
回答施設数（件）	642		699	57		
回答率（％）	34.3		37.4	3.1		
調査対象者数（人）		2,492			2,800	
回答者数（人）		334			392	
回答率（％）		13.4			14	
関係機関主催の場における相談回数（回）	13	10	5	-5	－	他機関主催のイベント等に参加し、求職者の支援をする
相談件数（件）	10	23	10	-13	－	
発行数（部）	2,500	2,500	2,450	-50	2,200	2月発行 施設の希望に応じた方法で周知する

令和6年度ナースセンター事業実績

事業名	事業	事業目的	事業内容	令和6年度事業目標
看護職員再就業支援強化事業	再就業支援強化事業	県内に住所を有する未就業看護職員に対し、看護の動向および業務に必要な知識及び技術の研修を行い、就業を促進すると共に、質の向上を図ることを目的とする	再就業支援セミナー 1) eラーニング 2) 基礎1日コース 講義、技術演習・意見交換等 3) 施設見学・体験コース	1) 参加しやすい環境や登録者への情報提供を行い、eラーニング、基礎コース・体験コースの受講者数を増やす 2) プラチナナース対象の支援セミナーを継続して実施する
	ハローワーク連携事業	ナースセンターから遠い地域に在住する就業希望者のために、県内のハローワークに出向き相談を行うことにより再就職を促進することを目的とする	1) 看護職員再就業支援相談会 (ハローワーク13か所で相談会) 2) ハローワーク連携セミナー 3) ケース会議 4) 求人施設訪問 5) 連絡調整会議	1) 相談会利用者を増やす 2) 相談会参加者の就職支援を継続する
「看護の心」普及事業	「看護の心」普及事業	将来看護職員を目指す中・高校生及び学校の進路担当者等に対し、看護業務についての知識と理解を深めさせると共に、多様な看護職員の養成課程を理解し適正な進路を歩むことができるように支援することを目的とする	「看護の心」普及啓発 1) 看護の日事業 2) 看護の出前授業 高校生一日看護師体験事業	看護の日事業の参加者数を増やす
日本看護協会	看護補助者の確保・定着・推進事業	病院等における看護補助者の確保・定着が困難になっていることから、質の高い看護補助者を養成するとともに、看護補助者の就業支援を行う	看護補助者の仕事の周知 1) 「看護補助者のしごと」説明会 2) オンデマンド配信研修 3) リーフレットによる周知	「看護補助者のしごと」説明会や研修を通して、仕事内容を周知し就業につなげる

および令和7年度取り組み目標

令和4・5・6年度実績					令和7年度計画	
項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年増減	指標	取り組み目標
再就職支援セミナー参加者数(人)	190	145	119	-26	175	求職者が参加し易い意見交換や技術演習の場を設定し、再就職者への支援をする
eラーニング	92	51	39	-12	49	
基礎1日コース	90	76	67	-9	107	
施設見学コース・体験コース	8	18	13	-5	19	
施設見学、体験受入施設数	11	7	13	6	19	
基礎1日コース開催数(回)	8	8	6	-2	15	
うちプラチナナースコース 開催数(回)	3	4	3	-1	3	
プラチナナース参加者数(人)	36	37	28	-9	40	
再就職支援セミナー参加者の 再就職者数(人)	106	70	62	-8	93 (就職率53%)	
看護職員再就職支援相談会 相談者数(人)	174	163	158	-5	170	1) 相談会利用率を増やす 2) 相談会参加者や連携セミナー受講者の就職支援を継続する
利用率(%)	56.5	52.9	51.3	-2	55.0	
ハローワーク連携セミナー 求職者向け開催数(回)	2	2	2	0	2	
求人施設向け開催数(回)	0	1	0	-1	—	
ケース会議開催数(回)	11	7	7	0	8	
ナースセンター・ハローワーク 連携施設訪問件数(件)	10	10	10	0	10	
看護の日事業参加者数(人)	81	73	36	-37	263	看護の日事業の活動継続と充実を図り、幅広い年代に向け看護のしごとの魅力を発信する
看護の出前授業参加中学生数(人)	315	143	253	110	141	
高校生一日看護師体験事業 実施病院数(件)	33	91	96	5	102	
参加者数(人)	227	700	828	128	906	
看護系大学・養成所への進学者数(人)	244	143	456	—	—	* 進学者数は、前年度実績
割合(%)	91.1	88.8	84.4	—	—	
「看護補助者のしごと」説明会 参加者数(人)	—	—	61	—	137	「看護補助者のしごと」説明会や研修の周知を図り、参加者数を増やすとともに就職につながるよう支援する
参加満足度 大変満足・まあまあ満足(%)	—	—	100	—	100	
オンデマンド配信研修 集合研修受講者数(人)	—	—	5	—	30	
自己研修受講者数(人)	—	—	6	—	10	
「看護補助者のしごと」説明会 参加者の就職者数(人)	—	—	3	—	5	
						* 職業安定課の12月末情報

ナースバンク事業

I 看護職員無料職業紹介事業

新潟県ナースセンターは、新潟県知事の指定のもと新潟県看護協会が運営し、看護師等無料職業紹介事業を行っている。e ナースセンター（日本看護協会が運営する無料職業紹介サイト）による職業紹介や、看護師等免許保持者の届出制度（看護師等の届出サイト「とどけるん」）の周知や登録支援を、新潟市の本所をはじめ、長岡支所、上越支所、南魚沼市・柏崎市の相談窓口の県内5ヵ所で運営をしている。

以下は、3月31日現在の実績である。

1 求職登録実績（e ナースセンター）

1）求職登録者数（月別） (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ユーザー登録者数 ※1	2,691	2,719	2,728	2,754	2,756	2,773	2,769	2,777	2,792	2,820	2,825	2,825	2,769
求職者数 ※2	286	286	284	294	289	263	266	234	232	244	254	260	262
当月新規登録者数	60	48	29	48	22	39	31	28	22	28	35	40	36

※1…求職登録者のうち「就職活動をしている」と登録した者

※2…ユーザー登録者のうち「求職票」の登録がある者

2）二次医療圏域別求職登録者数 ※保有資格すべて (人)

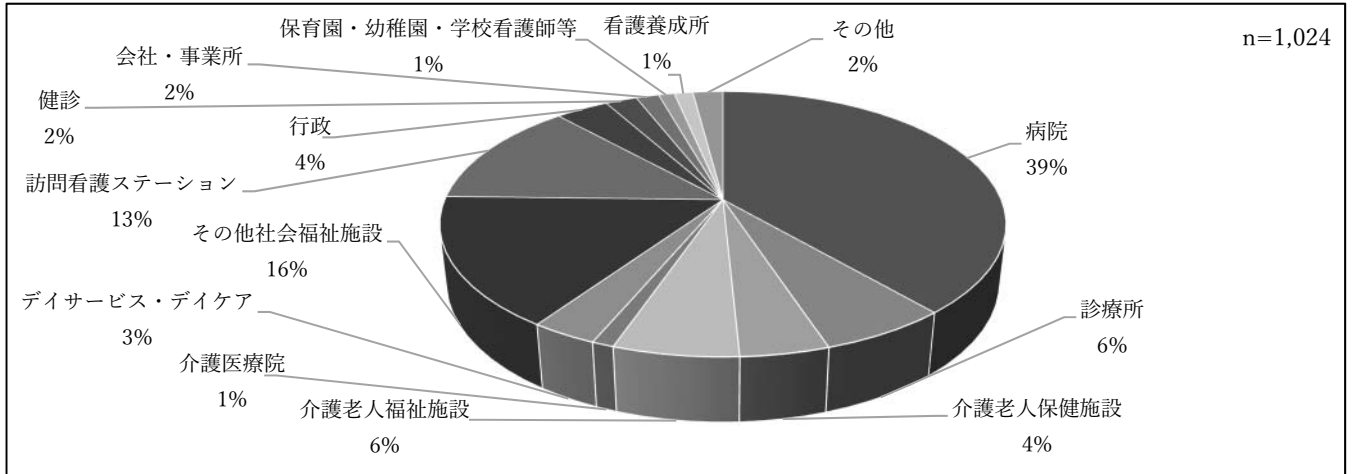
二次医療圏域		保健師	助産師	看護師	准看護師
下越	新発田市・村上市・胎内市・ 聖籠町・関川村・粟島浦村	17	4	130	38
新潟	新潟市・五泉市・ 阿賀野市・阿賀町	269	61	1,456	327
県央	三条市・燕市・加茂市・ 弥彦村・田上町	23	7	170	66
中越	長岡市・柏崎市・小千谷市・ 見附市・出雲崎町・刈羽村	54	16	384	86
魚沼	十日町市・魚沼市・ 南魚沼市・湯沢町・津南町	36	7	146	17
上越	上越市・糸魚川市・妙高市	36	9	210	25
佐渡	佐渡市	1	0	14	2
計		436	104	2,510	561

2 求人登録実績（e ナースセンター）

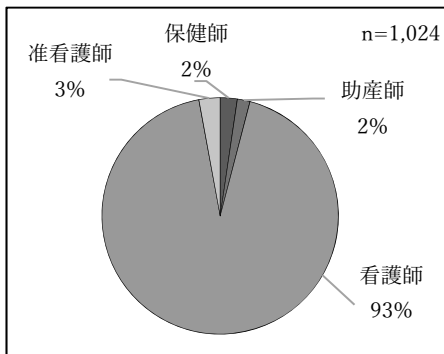
1）求人者数と求人件数（月別） ※新規求人件数は常勤・非常勤のみ集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
求人者数	853	846	828	843	863	840	823	835	867	929	944	1,024	875
求人件数	479	479	465	458	466	450	446	453	467	498	510	517	474
当月新規求人件数	23	32	28	39	41	42	34	47	31	57	44	45	39

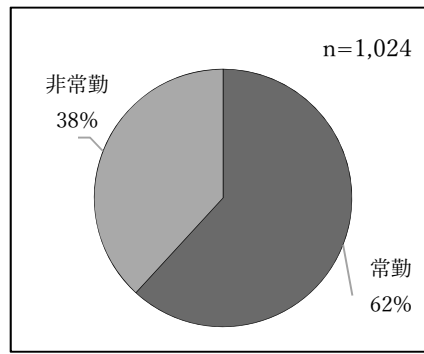
2) 施設別求人（割合）



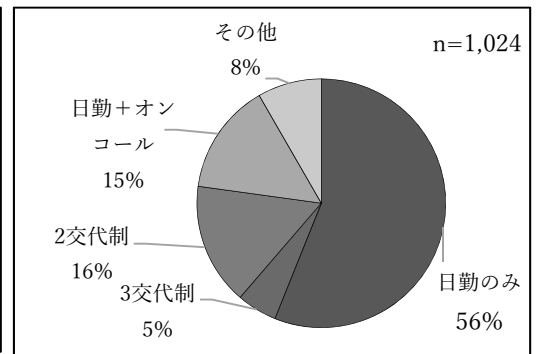
3) 資格別求人（割合）



4) 雇用形態別求人（割合）



5) 勤務形態別求人（割合）

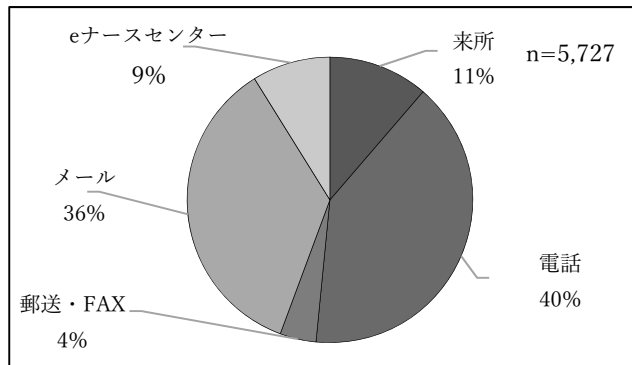


3 相談実績

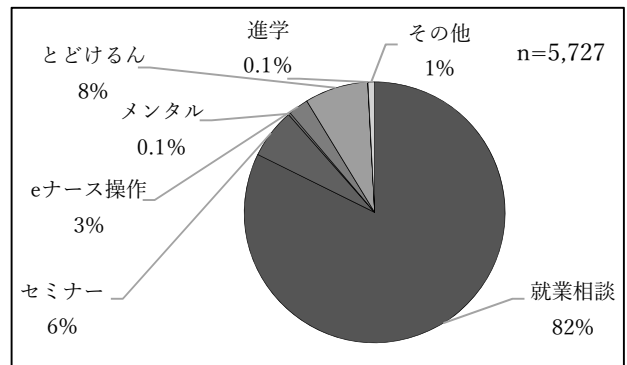
1) 求職相談件数 ※（ ）内は昨年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	376	334	321	340	393	324	322	209	274	346	343	403	3,985
長岡支所	48	39	36	50	30	43	32	32	37	41	34	39	461
上越支所	102	88	68	96	92	102	92	56	64	79	60	65	964
南魚沼 相談窓口	1	0	1	4	5	5	10	7	5	6	3	5	52
柏崎 相談窓口	36	27	9	23	25	30	43	12	16	16	10	18	265
合計	563 (458)	488 (464)	435 (562)	513 (501)	545 (518)	504 (452)	499 (496)	316 (496)	396 (517)	488 (495)	450 (602)	530 (483)	5,727 (6,043)

2) 求職者の相談手段別 (割合)



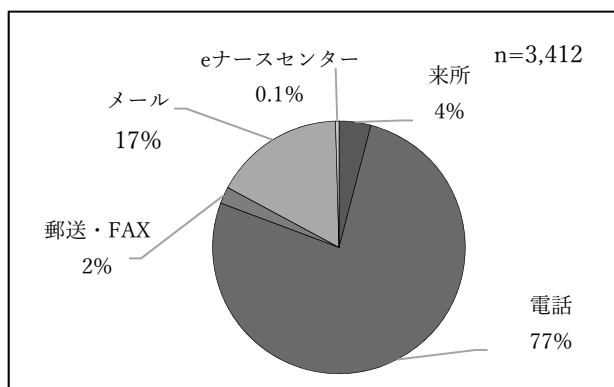
3) 求職者の相談内容別 (割合)



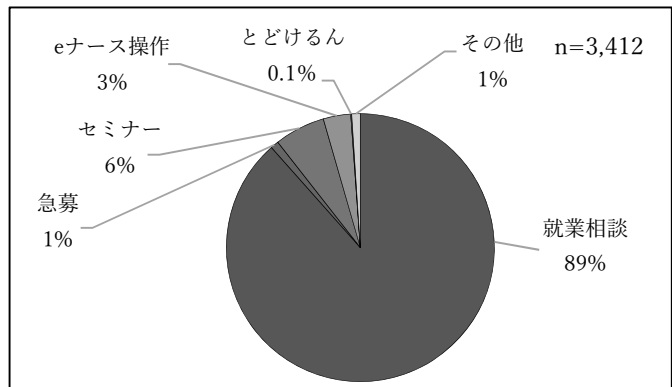
4) 求人相談件数 ※ () 内は昨年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	176	175	215	227	226	188	205	148	159	165	230	225	2,339
長岡支所	19	13	27	7	8	14	16	15	17	28	31	19	214
上越支所	67	46	51	62	48	66	31	38	51	71	61	33	625
南魚沼 相談窓口	2	1	4	4	6	5	6	8	7	2	5	1	51
柏崎 相談窓口	37	14	18	10	19	21	22	5	8	18	3	8	183
合計	301 (259)	249 (292)	315 (297)	310 (328)	307 (279)	294 (310)	280 (296)	214 (309)	242 (334)	284 (319)	330 (370)	286 (217)	3,412 (3,610)

5) 求人施設の相談手段別 (割合)



6) 求人施設の相談内容別 (割合)

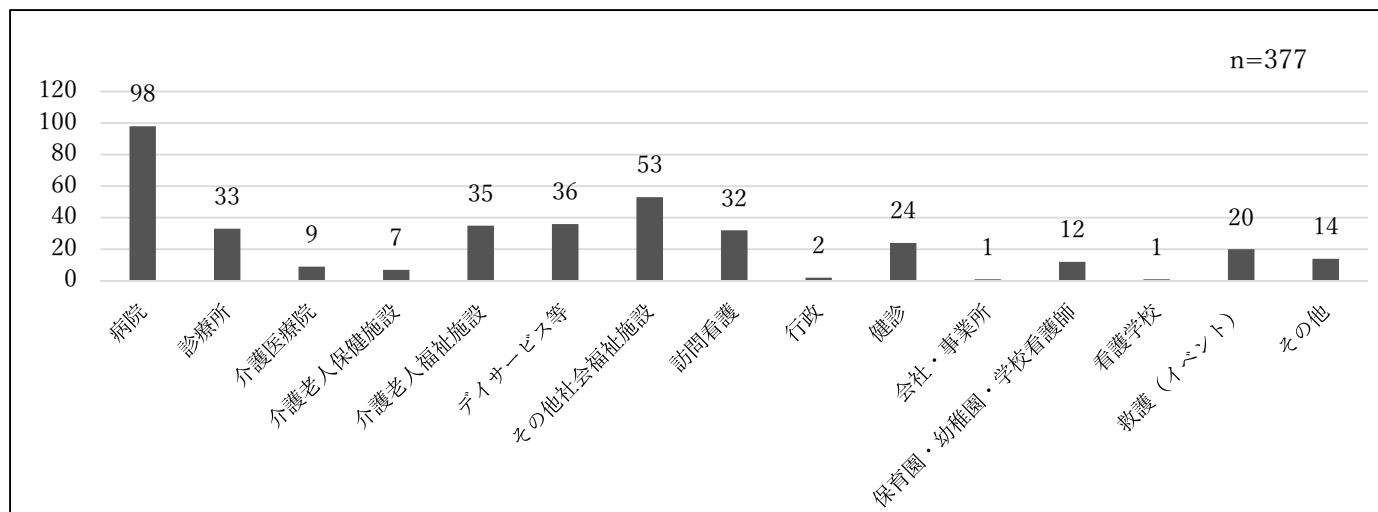


4 応募前施設見学実績

1) 見学設定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	11	14	18	9	9	17	10	8	7	11	25	11	150
長岡支所	1	5	0	2	0	4	2	5	1	3	3	1	27
上越支所	27	13	13	12	21	12	6	8	10	13	18	10	163
南魚沼相談窓口	0	0	1	1	0	2	3	0	0	0	0	1	8
柏崎相談窓口	6	1	3	1	3	2	4	0	1	3	0	5	29
合計	45	33	35	25	33	37	25	21	19	30	46	28	377

2) 見学設定先施設種別



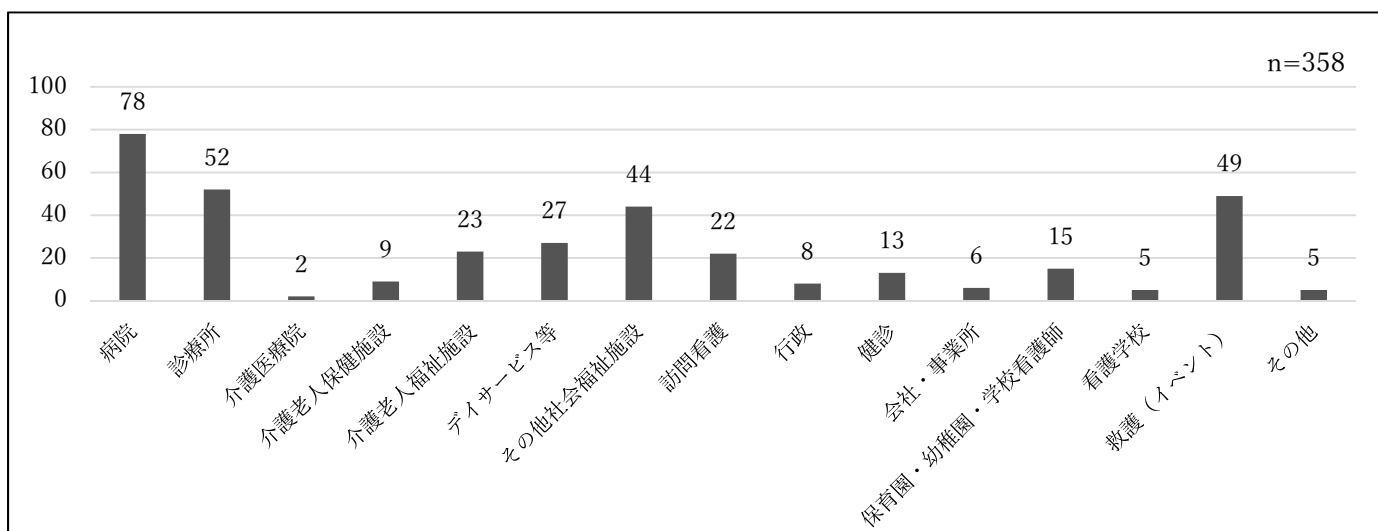
5 就職実績

1) 就職者数 ※ () 内は昨年度実績

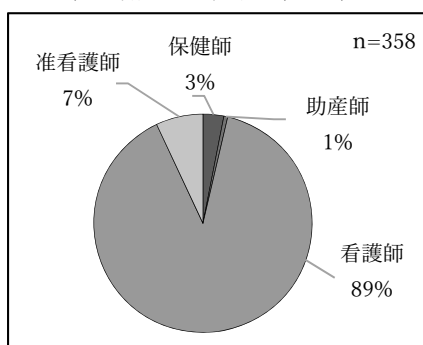
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	13	7	16	20	19	9	22	12	17	16	16	22	189
長岡支所※	2	5	2	1	6	3	8	4	2	3	4	6	46
上越支所	12	20	8	10	13	11	13	8	6	4	11	7	123
合計	27	32	26	31	38	23	43	24	25	23	31	35	358

※1：南魚沼相談窓口および柏崎相談窓口の相談者含む

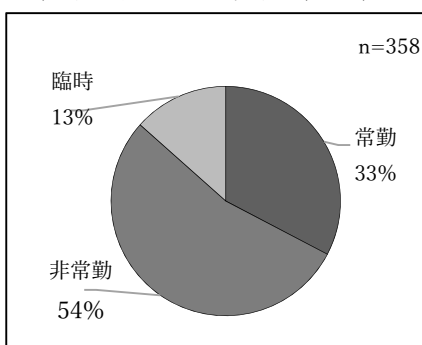
2) 就職者の就職先施設種別



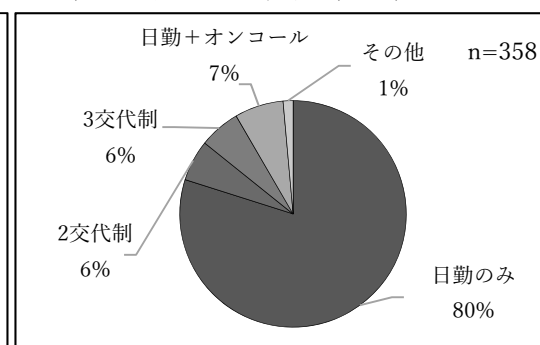
3) 資格別就職者 (割合)



4) 雇用形態別就職者 (割合)



5) 勤務形態別就職者 (割合)



6 成果

昨年度に比べ、求職登録者・求人登録件数ともに横ばいとなっているが、求職登録者のうち有効登録者は減少している。求職相談件数、求人相談件数ともに横ばいであった。

ナースセンターへの就業相談を促すため、e ナースセンター登録者へ「ナースセンターへ相談してみませんか？」と一斉メールを配信。配信後は来所相談予約が増加し、効果的であった。

求職相談の方法として、例年に続きメール相談が増加し、来所相談が減少している。しかし、就職者数はやや増加傾向にある。メール相談においても相談員はきめ細やかな対応を心がけており、求職者のニーズに合った多様な手法で情報提供や各種調整等のサポートが実施できているのではないかと考える。

7 課題

多様化する事例対応ため、施設訪問時には多様な働き方の検討や受入に関する提案を、求人施設へ行った。

今後も看護職員確保・定着をすすめるための各種機関との連携や情報共有、ナースセンターの周知を継続し、顔の見える関係づくりの構築に努めたい。

また、ナースセンターでは求職者のニーズを重視し寄り添いながら、丁寧かつきめ細やかな相談対応を実施していることを周知し、利用をすすめていきたいと考える。

Ⅱ 看護師等免許保持者の届出制度

1 届出制度とは

平成 27 年 10 月「看護師等の人材確保の促進に関する法律」（看護師等人材確保法）の改正により、保健師・助産師・看護師・准看護師の免許をもち、病院等の職場を離職した場合などに、都道府県ナースセンターへ氏名や連絡先などを届け出る制度で努力義務になっている。この制度を広く周知させ、離職中の看護師等の再就職を支援し看護職員の人材確保につなげていく。

以下は、令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日現在の実績である。

2 届出登録状況

延べ登録者数: 4,926 人（平成 27 年 10 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 迄：中央ナースセンター集計）

※県外への転入・転出にて変動あり

1) 月別届出件数

年度/月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
令和 4 年度	75	66	48	43	61	37	42	20	19	23	38	65	537
令和 5 年度	61	36	37	37	31	38	32	24	27	24	44	50	441
令和 6 年度	73	47	30	43	27	24	32	17	22	34	27	65	441

2) 登録別

年度	個人	施設代行	ナースセンター代理	計
令和 4 年度	200	131	206	537
令和 5 年度	226	64	151	441
令和 6 年度	206	79	156	441

3) 医療圏域別

医療圏域	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
下越	38	35	34
新潟	242	163	107
県央	36	38	24
中越	110	90	83
魚沼	7	19	4
上越	91	91	95
佐渡	13	5	1
不明	—	—	1
計	537	441	349

4) 登録時の就業活動の状況

年度	就職していない	就職していないが求職中	就業者・就業予定（看護師等）	就業者・就業予定（看護師等以外）	学生・その他	不明（未記入）	合計
令和 4 年度	104	170	206	13	17	27	537
令和 5 年度	97	136	152	17	15	24	441
令和 6 年度	97	120	160	14	17	33	441

5) 届出に関する周知活動状況

(1) 関係機関への周知協力

- ・新潟県病院協会、新潟県老人福祉施設協議会、新潟県訪問看護ステーション協議会、新潟市医師会に訪問し、関係施設への周知をお願いした。

(2) 看護管理者への周知依頼

- ・県内病院にメールで周知依頼文書（5月・1月）
- ・看護部長会・支部長会議で、担当理事より届出登録周知の説明
- ・認定看護管理者研修（セカンドレベル・ファーストレベル）で説明（7月・9月）
届出登録の必要性・制度のQ&Aを作成・配布

(3) 一般看護職への周知

- ・ホームページ上に届出登録のお知らせ、チラシの更新（5月・1月）

(4) 看護関係学校養成所の卒業生への周知

- ・看護協会への入会リーフレット、ナースセンターのご紹介のリーフレットの送付
- ・訪問による説明を希望した学校養成所：8校（大学1、養成所6、高等学校専攻科1）

4 結果

- ・昨年度 441 件、今年度 441 件 前年度比±0%という結果であった。
- ・今年度は、個人登録のみならず、施設代理登録についても周知を強化してきた。また、新潟県病院協会等の関係機関への届出周知を協力依頼してきたが、届出件数に反映するほどの結果は得られなかった。管理者用、看護職員用に、少しでも目を引くように絵入りのチラシを作成し、病院及び訪問看護ステーションにメールに添付し、他施設にはナースセンターだより送付時に同封し周知を図った。医療圏別にみると、新潟圏域の届出件数が減少している。

5 課題

- ・目を引く広報の工夫：チラシ内容、県のお仕事ステーションでの掲載
- ・新任看護管理者への届出への意識づけ
- ・新潟圏域を中心に届出登録が増加するよう対策をとる必要がある

Ⅲ 看護職員需要施設実態調査

1 調査概要

1) 目的

看護職員需要施設の実態を調査し、充足を図ると共に、未就業看護職員の就業を促進すること

2) 調査期間 7月16日～8月16日（回答は7月1日時点、退職・採用については令和5年度を指す。）

3) 調査対象 県内の病院、診療所（歯科を除く）、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、訪問看護ステーション。計1,867施設

4) 調査方法

- ・調査票の配布は、病院と訪問看護ステーションの計313施設はメールで送信。他は郵送。
- ・回答方法は全てWebで受付。Web回答が不可能と問い合わせが生じた場合のみFAX等に対応

5) 回答状況 有効回答は699施設、有効回答率37.4%（令和4年度調査34.3%）

6) 調査上の用語

- ・離職率：一定期間で離職した人の割合
- ・欠員率：常勤労働者に対する未充足求人の割合

2 結果概要

1) 全体の離職率は、令和4年度調査と比較して9.9%で変化はなかった。（図表1）

2) 55歳以上の看護職（以下、プラチナナースとする）の雇用は7割の施設で再雇用制度を導入しており、新規雇用は積極的には行われていない。（図表2、19、23）

3) 令和5年度の雇用状況をみると、中途採用者の18.3%が1年未満で退職しており、最も多い理由は「自身の適性や能力の不安」だった。（図表16）

4) 欠員が慢性化する理由は、「求人を出していても応募がない」「産休・育休が常にいる状態」が多かった。（図表8、9）

5) 求人施設側が利用しているのは、「ハローワーク」が最も多かった。（図表26、30）

6) 多くの施設で看護職員の確保定着の取り組みが行われており、「有給休暇の取得しやすさ」「多様な勤務体制の導入」が効果的であったとの回答が多かった。（図表27）

3 所見

1) 入職後のミスマッチ（適性や能力について）が退職につながらないように、求職相談時には自己理解を深められる関わりが必要。その点、看護師経験のある相談員が対応していることはナースセンターの強みである。求職者の求める条件や仕事内容に応じた働き方について相談・支援し、必要に応じて入職後のフォローを行っていく。

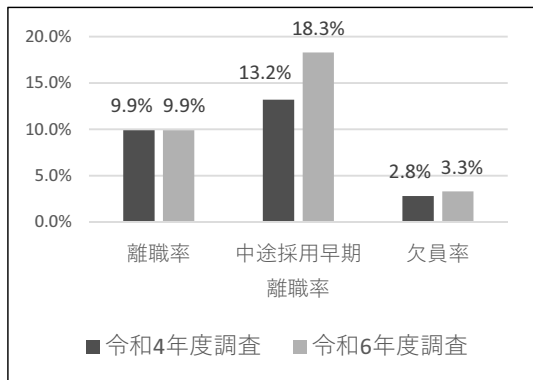
2) 求人については、応募につなげることが重要。求人施設と積極的に連絡を取り、欠員状況や求める人材等、施設の情報収集に努め、得た情報を求職者側に提供することで応募につながるよう引き続き取り組んでいく。

4 調査結果の詳細

1) 令和4年度調査と令和6年度調査の比較（令和4年度n=642施設、令和6年度n=699施設）

（1）離職率、中途採用早期離職率、欠員率

図表1 離職率、中途採用早期離職率、欠員率



（2）プラチナナース、定年制度、再雇用制度について

図表2 プラチナナース、定年制度、再雇用制度状況

調査年度	プラチナナースの積極的な新規雇用	定年制度あり	再雇用制度あり	再雇用勤務者の割合
令和4年度調査	20.4%	81.8%	86.9%	55.1%
令和6年度調査	24.6%	85.6%	77.7%	39.3%

2) 設問に沿った調査結果

(問1) 施設種別

図表3 施設種別、医療圏域別の回答率

		全体	下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越	佐渡
全体 (n=699)	対象数	1,867	170	811	188	318	114	224	42
	回収数	699	73	289	67	121	54	77	18
	有効回答率(%)	37.4%	42.9%	35.6%	35.6%	38.1%	47.4%	34.4%	42.9%
病院 (n=72)	対象数	117	15	47	9	19	11	14	2
	回収数	72	8	27	4	14	8	9	2
	有効回答率(%)	61.5%	53.3%	57.4%	44.4%	73.7%	72.7%	64.3%	100.0%
診療所 (n=359)	対象数	1168	98	524	125	204	55	140	22
	回収数	359	35	160	35	59	24	39	7
	有効回答率(%)	30.7%	35.7%	30.5%	28.0%	28.9%	43.6%	27.9%	31.8%
介護老人保健施設 (n=38)	対象数	97	12	41	10	15	3	12	4
	回収数	38	5	13	3	8	1	6	2
	有効回答率(%)	39.2%	41.7%	31.7%	30.0%	53.3%	33.3%	50.0%	50.0%
介護老人福祉施設 (n=156)	対象数	292	30	103	24	55	33	35	12
	回収数	156	19	55	14	29	17	16	6
	有効回答率(%)	53.4%	63.3%	53.4%	58.3%	52.7%	51.5%	45.7%	50.0%
訪問看護ステーション (n=74)	対象数	193	15	96	20	25	12	23	2
	回収数	74	6	34	11	11	4	7	1
	有効回答率(%)	38.3%	40.0%	35.4%	55.0%	44.0%	33.3%	30.4%	50.0%

(問2) 看護職員の在籍人数と欠員人数をご記入ください

図表4 施設別の看護職員の在籍人数と欠員人数、欠員率 ※非常勤については常勤換算しています

施設分類別	回答 施設数	在籍人数					欠員人数				
		合計	保	助	看	准	合計	保	助	看	准
病院（～199床）	45	3,432.3	49.1	44.0	3,021.9	317.4	111.2	0.3	1.0	106.9	2.9
病院（200～399床）	19	3,232.9	51.6	52.8	2,883.1	245.4	130.0	2.0	2.0	123.0	3.0
病院（400床以上）	8	2,924.6	39.3	118.8	2,726.3	40.2	49.0	5.0	9.0	35.0	0.0
診療所	359	1,305.1	4.0	52.2	865.7	383.2	46.9	0.0	2.0	31.4	13.5
介護老人保健施設	38	461.2	1.0	0.0	351.3	109.0	22.8	0.0	0.0	19.0	3.8
介護老人福祉施設	156	892.4	2.8	0.0	641.6	248.0	50.2	1.0	1.0	41.2	7.0
訪問看護ステーション	74	476.8	12.3	4.0	435.5	25.0	10.5	1.0	0.0	9.5	0.0

施設分類別	回答 施設数	欠員率(%)				
		合計	保	助	看	准
病院（～199床）	45	3.1%	0.6%	2.2%	3.4%	0.9%
病院（200～399床）	19	3.9%	3.7%	3.7%	4.1%	1.2%
病院（400床以上）	8	1.6%	11.3%	7.0%	1.3%	0.0%
診療所	359	3.5%	0.0%	3.7%	3.5%	3.4%
介護老人保健施設	38	4.7%	0.0%	0.0%	5.1%	3.3%
介護老人福祉施設	156	5.3%	26.3%	100.0%	6.0%	2.7%
訪問看護ステーション	74	2.2%	7.5%	0.0%	2.1%	0.0%

〔参考：令和4年度調査と令和6年度調査の医療圏域別でみた欠員率〕

医療圏域別		下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越	佐渡
欠員率	令和4年度調査 n=642	3.4%	1.9%	3.6%	4.5%	2.7%	2.2%	6.0%
	令和6年度調査 n=699	4.3%	2.8%	3.1%	3.4%	1.9%	3.4%	6.0%

(問3) 看護職員の求人をしていますか

図表5 施設別の看護職の求人の有無

施設分類別	回答施設数	求人なし	求人あり
病院（～199床）	45	8	37
病院（200～399床）	19	5	14
病院（400床以上）	8	2	6
診療所	359	309	50
介護老人保健施設	38	20	18
介護老人福祉施設	156	84	72
訪問看護ステーション	74	48	26
全体	699	476	223

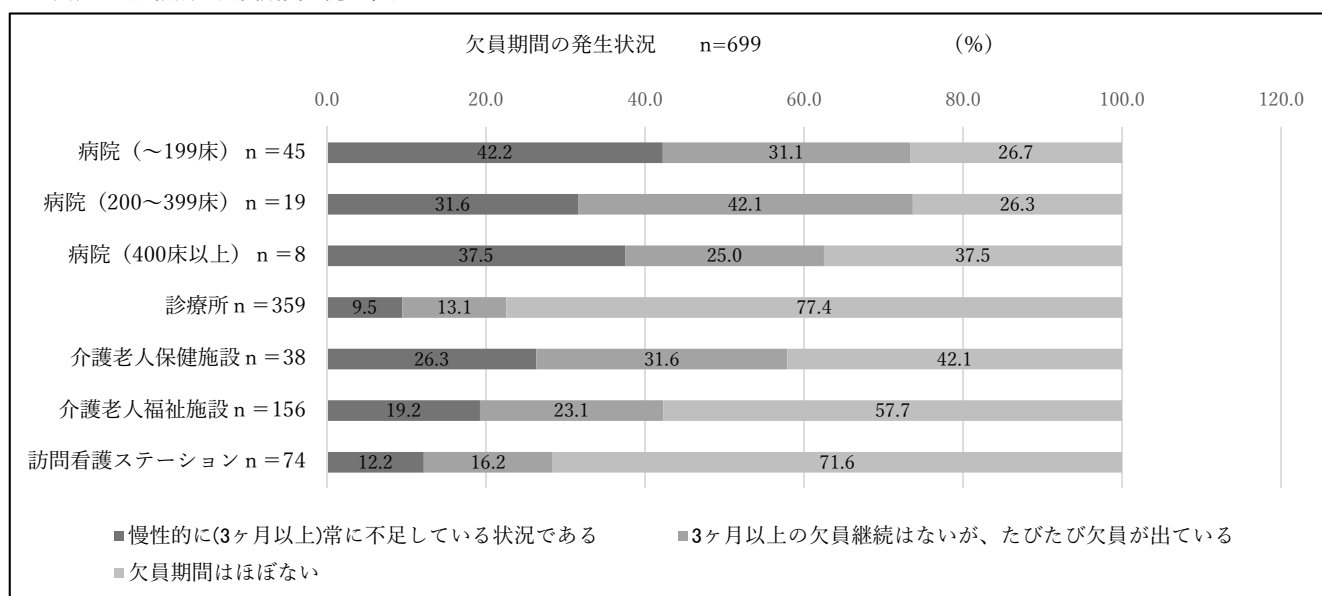
(問 3-1) 問 3 で「①求人している」と回答した場合、募集人数をご記入ください

図表 6 施設別の募集人数

施設分類別	回答 施設数	募集人数(常勤)					募集人数(非常勤)				
		合計	保	助	看	准	合計	保	助	看	准
病院 (～199 床)	37	129	0	1	112	16	17	0	0	14	3
病院 (200～399 床)	14	101	2	2	79	18	32	0	0	22	10
病院 (400 床以上)	6	98	0	17	76	5	11	0	0	11	0
診療所	50	61	0	2	41	18	31	0	0	21	10
介護老人保健施設	18	39	0	0	30	9	2	0	0	1	1
介護老人福祉施設	72	102	0	0	81	21	27	0	0	19	8
訪問看護ステーション	26	33	1	0	32	0	10	0	0	10	0

(問 4) 欠員期間の発生状況についてご記入ください

図表 7 施設別の欠員期間の発生状況



(問 4-1) 「慢性的に不足」または「たびたび欠員が出ている」理由としてどのようなことが挙げられますか

図表 8 施設別の欠員が発生する主な理由 (上位 3 位)

(上位 3 つまでの複数回答)

施設分類別	1 位	2 位	3 位
病院 (～199 床) n=33	産休・育休が常にいる状態(69.7%)	精神的理由による病休や退職(48.5%)	家庭事情による退職(42.4%)
病院 (200～399 床) n=14	産休・育休が常にいる状態(85.7%)	身体的理由による病休や退職(57.1%)	精神的理由による病休や退職(42.9%)
病院 (400 床以上) n=5	産休・育休が常にいる状態(80.0%)	家庭事情による退職(60.0%)	・ 身体的理由による病休や退職 ・ 業務負担・超過勤務が多い等の理由で退職・求人を出していても応募がない(40.0%)
診療所 n=81	求人を出していても応募がない(65.4%)	家庭事情による退職(25.9%)	職場の人間関係(24.7%)
介護老人保健施設 n=22	求人を出していても応募がない(59.1%)	家庭事情による退職(31.8%)	身体的理由による病休や退職(27.3%)
介護老人福祉施設 n=66	求人を出していても応募がない(63.6%)	家庭事情による退職(34.8%)	身体的理由による病休や退職(27.3%)
訪問看護ステーション n=21	求人を出していても応募がない(61.9%)	家庭事情による退職(38.1%)	その他(28.6%)

図表 9 医療圏域別の欠員が発生する主な理由（上位 3 位）

医療圏域	1 位	2 位	3 位
下越 n=23	求人を出していても応募がない(56.5%)	身体的理由による病休や退職(47.8%)	・産休・育休が常にいる状態 ・家庭事情による退職(30.4%)
新潟 n=93	求人を出していても応募がない(55.9%)	家庭事情による退職(36.6%)	産休・育休が常にいる状態(34.4%)
県央 n=30	求人を出していても応募がない(56.7%)	家庭事情による退職(36.7%)	職場の人間関係(30.0%)
中越 n=42	求人を出していても応募がない(59.5%)	身体的理由による病休や退職(33.3%)	精神的理由による病休や退職(26.2%)
魚沼 n=22	求人を出していても応募がない(72.7%)	身体的理由による病休や退職(31.8%)	家庭事情による退職(27.3%)
上越 n=23	求人を出していても応募がない(47.8%)	家庭事情による退職(43.5%)	・産休・育休が常にいる状態 ・精神的理由による病休や退職 ・職場の人間関係 (21.7%)
佐渡 n=9	求人を出していても応募がない(66.7%)	・産休・育休が常にいる状態	・職場の人間関係 (33.3%)

(問 5) 令和 5 年度の採用者数についてご記入ください

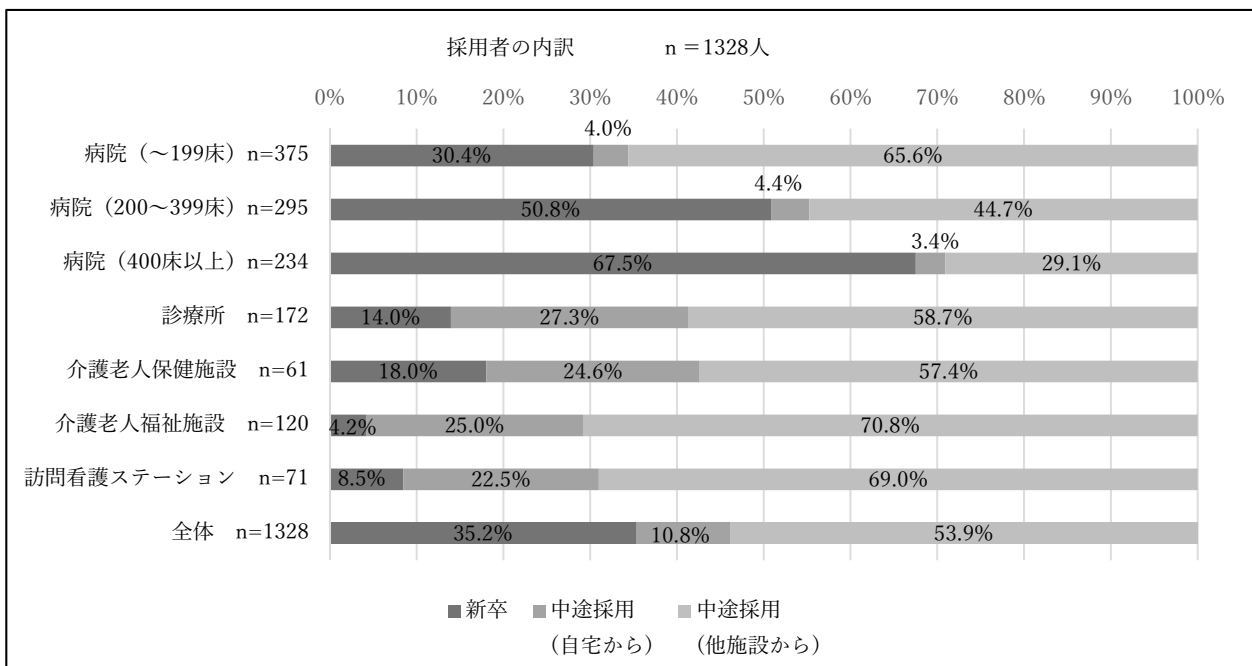
図表 10 施設別の令和 5 年度の新人採用人数

施設分類別	回答 施設数	新人採用人数(常勤)					新人採用人数(非常勤)				
		合計	保	助	看	准	合計	保	助	看	准
病院 (～199 床)	45	113	0	2	110	1	1	0	0	1	0
病院 (200～399 床)	19	150	2	3	144	1	0	0	0	0	0
病院 (400 床以上)	8	158	2	10	146	0	0	0	0	0	0
診療所	359	19	0	1	14	4	5	0	0	3	2
介護老人保健施設	38	9	0	0	9	0	2	0	0	2	0
介護老人福祉施設	156	3	0	0	1	2	2	0	0	1	1
訪問看護ステーション	74	6	0	0	6	0	0	0	0	0	0

図表 11 施設別の令和 5 年度の中途採用人数

施設分類別	回答 施設数	中途採用人数(常勤)					中途採用人数(非常勤)				
		合計	保	助	看	准	合計	保	助	看	准
病院 (～199 床)	45	226	4	4	213	5	35	1	0	31	3
病院 (200～399 床)	19	129	2	2	122	3	16	1	0	14	1
病院 (400 床以上)	8	69	0	4	64	1	7	1	0	6	0
診療所	359	98	0	1	81	16	50	1	1	39	9
介護老人保健施設	38	37	0	0	33	4	13	0	0	10	3
介護老人福祉施設	156	82	0	0	73	9	33	0	0	25	8
訪問看護ステーション	74	44	1	1	41	1	21	1	0	17	3

図表 12 施設別の採用者の内訳



(問 6) 令和 5 年度の退職者数についてご記入ください

図表 13 令和 5 年度の退職者の割合

施設分類別	回答施設	雇用形態	在籍人数	退職割合	退職者の年代別割合				
					20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上
病院（～199 床）	45	常勤	3098.3	9.7%	28.1%	24.4%	18.1%	14.7%	14.7%
		非常勤	333.96	12.6%	7.1%	14.3%	21.4%	21.4%	35.7%
病院（200～399 床）	19	常勤	2834	9.1%	46.3%	25.1%	11.2%	8.1%	9.3%
		非常勤	398.94	7.0%	3.6%	10.7%	17.9%	17.9%	50.0%
病院（400 床以上）	8	常勤	2764.5	6.9%	50.3%	18.8%	10.5%	10.5%	9.9%
		非常勤	160.07	30.0%	12.5%	20.8%	22.9%	29.2%	14.6%
診療所	359	常勤	1035.2	9.8%	5.0%	15.8%	34.7%	21.8%	22.8%
		非常勤	269.88	18.5%	2.0%	14.0%	26.0%	28.0%	30.0%
介護老人保健施設	38	常勤	346.9	8.6%	6.7%	10.0%	23.3%	30.0%	30.0%
		非常勤	114.34	19.2%	4.5%	4.5%	31.8%	9.1%	50.0%
介護老人福祉施設	156	常勤	665.2	12.9%	8.1%	12.8%	24.4%	24.4%	30.2%
		非常勤	227.21	20.7%	6.4%	17.0%	12.8%	12.8%	51.1%
訪問看護ステーション	74	常勤	367.8	10.6%	12.8%	17.9%	35.9%	20.5%	12.8%
		非常勤	109.01	17.4%	5.3%	26.3%	36.8%	15.8%	15.8%

(問 7) 令和 5 年度に退職した人の退職理由についてお選び下さい（上位 3 つまでの複数回答）

図表 14 施設別の令和 5 年に退職した人の主な退職理由（上位 3 位）

施設種別	1 位	2 位	3 位
病院（～199 床） n=45	転職(56.8%)	健康上の理由(身体面) (25.0%)	転居(22.7%)
病院（200～399 床） n=19	転職(78.9%)	定年(47.4%)	転居(31.6%)
病院（400 床以上） n=8	転職(87.5%)	・ 転居 ・ 結婚	・ 育児(37.5%)
診療所 n=359	不明(30.4%)	定年(16.8%)	転職(12.5%)
介護老人保健施設 n=38	健康上の理由(身体面)(28.1%)	定年(21.9%)	転職(18.8%)
介護老人福祉施設 n=156	健康上の理由(身体面)(27.4%)	不明(25.7%)	転職(15.0%)
訪問看護ステーション n=74	不明(20.5%)	・ 自身の適性や能力の不安	・ その他(18.2%)

(問 8) 令和 5 年度の中途採用者のうち、1 年未満の退職者はいましたか

(問 8-1) 問 8 で「はい」と回答した場合、内訳をご記入ください

図表 15 施設別の令和 5 年度の中途採用者のうち、1 年未満の退職者の割合

施設分類別	回答施設	雇用形態	中途採用 入職者数	うち早期 退職割合	退職者の年代別割合				
					20 代	30 代	40 代	50 代	60 代 以上
病院（～199 床）	45	常勤	226	13.3%	30.0%	20.0%	20.0%	23.3%	6.7%
		非常勤	35	28.6%	20.0%	20.0%	10.0%	20.0%	30.0%
病院（200～399 床）	19	常勤	129	9.3%	58.3%	16.7%	25.0%	0.0%	0.0%
		非常勤	16.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病院（400 床以上）	8	常勤	69.0	13.0%	66.7%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%
		非常勤	7.0	85.7%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%
診療所	359	常勤	98.0	16.3%	12.5%	12.5%	25.0%	43.8%	6.3%
		非常勤	50.0	16.0%	12.5%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%
介護老人保健施設	38	常勤	37.0	18.9%	0.0%	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%
		非常勤	13.0	38.5%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%
介護老人福祉施設	156	常勤	82.0	24.4%	20.0%	5.0%	40.0%	20.0%	15.0%
		非常勤	33.0	18.2%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
訪問看護ステーション	74	常勤	44.0	59.1%	15.4%	23.1%	53.8%	7.7%	0.0%
		非常勤	21.0	9.5%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(問 8-2) 問 8 で「はい」と回答した場合、中途採用者の 1 年未満の退職理由をお選び下さい

図表 16 施設別の令和 5 年度の中途採用者の 1 年未満の主な退職理由（上位 3 位）（上位 3 つまでの複数回答）

施設種別	1 位	2 位	3 位
病院（～199 床） n=18	自身の適性や能力の不安 (38.9%)	看護観や業務内容が合わない (27.8%)	・健康上の理由（精神面） ・転職 ・その他(16.7%)
病院（200～398 床） n=3	・自身の適性や能力の不安 ・健康上の理由（精神面）・転職 ・結婚・看護観や業務内容が合わない ・転居 ・責任の重さや事故等への不安（33.3%）		
病院（400 床以上） n=5	・自身の適性や能力の不安・健康上の理由（精神面）・その他(40.0%)		
診療所 n=23	自身の適性や能力の不安 (26.1%)	・人間関係 ・その他(17.4%)	
介護老人保健施設 n=8	健康上の理由（身体面） (37.5%)	転職(25.0%)	・健康上の理由（精神面） ・人間関係 ・その他(12.5%)
介護老人福祉施設 n=23	健康上の理由（身体面） (30.4%)	健康上の理由（精神面）（21.7%）	転職(17.4%)
訪問看護ステーション n=13	自身の適性や能力の不安 (46.2%)	転職(30.8%)	健康上の理由（精神面）（23.1%）

(問 9) 看護職員の仕事上の悩みや不安に対し、貴施設では誰が主に対応していますか(1 つ選択)

図表 17 施設別の看護職員の仕事上の悩みや不安に対する対応者

施設分類別	看護職の上司	看護職以外の 上司	同僚	産業医	カウンセラー	その他
病院（～199 床） n=45	97.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%
病院（200～399 床） n=19	89.5%	0.0%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%
病院（400 床以上） n=8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所 n=359	30.4%	27.0%	24.5%	0.8%	0.3%	17.0%
介護老人保健施設 n=38	81.6%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	2.6%
介護老人福祉施設 n=156	58.3%	30.1%	7.7%	0.0%	0.6%	3.2%
訪問看護ステーション n=74	74.3%	5.4%	17.6%	0.0%	0.0%	2.7%

(問 10) 定年制度はありますか。定めている場合、定年は何歳ですか

図表 18 施設別の定年制度の有無と年齢

施設分類別	回答 施設	定年制度								
		なし (施設数)	あり（施設数）							
				60 歳	61 歳	62 歳	63 歳	64 歳	65 歳以上	その他
病院（～199 床）	45	0	45	33	5	0	0	0	6	1
病院（200～399 床）	19	0	19	16	0	1	0	0	2	0
病院（400 床以上）	8	0	8	6	1	1	0	0	0	0
診療所	359	94	265	165	6	8	0	0	84	2
介護老人保健施設	38	0	38	25	2	1	0	0	10	0
介護老人福祉施設	156	5	151	90	0	2	5	1	53	0
訪問看護ステーション	74	2	72	49	1	1	0	0	21	0

(問 11) 再雇用制度はありますか。定めている場合、上限は何歳ですか

図表 19 施設別の再雇用制度の有無と年齢

施設分類別	回答 施設	再雇用制度										
		なし (施設数)	あり(施設数)									
			60 歳 以下	60 歳	61 歳	62 歳	63 歳	64 歳	65 歳 以上	上限 なし	その 他	
病院（～199 床）	45	2	43	0	0	0	0	0	0	26	17	0
病院（200～399 床）	19	2	17	0	0	0	0	0	0	12	5	0
病院（400 床以上）	8	0	8	0	0	0	0	0	0	6	2	0
診療所	359	129	230	4	0	0	0	0	1	121	104	0
介護老人保健施設	38	5	33	0	0	0	0	0	0	24	8	1
介護老人福祉施設	156	10	146	3	0	0	0	0	0	104	39	0
訪問看護ステーション	74	8	66	0	0	0	0	1	0	32	33	0

(問 12) 現在再雇用で働いている方はいますか

図表 20 施設別の再雇用者の有無

	施設数	いる	いない	検討中
病院（～199 床）	45	40	5	0
病院（200～399 床）	19	19	0	0
病院（400 床以上）	8	6	2	0
診療所	359	86	270	3
介護老人保健施設	38	28	10	0
介護老人福祉施設	156	74	81	1
訪問看護ステーション	74	22	52	0

(問 12-1) 問 12 で「いる」と回答した施設にお聞きします。再雇用で働いている方の主な業務をご記入ください

図表 21 施設別の再雇用で働いている人の主な業務内容

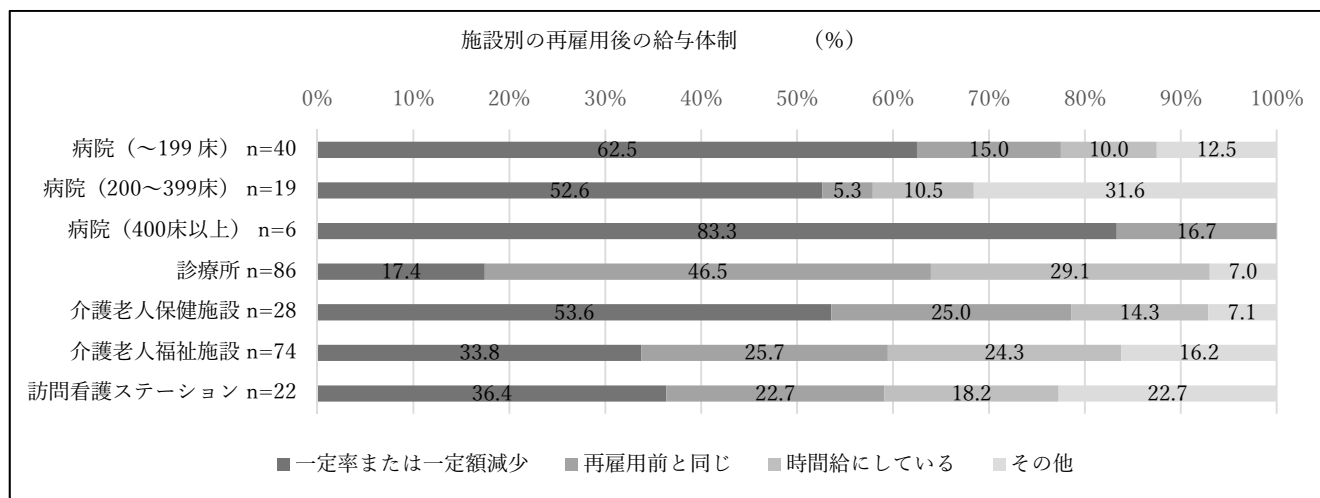
	施設数	再雇用前と同じ業務	再雇用前と違う業務
病院（～199 床）	40	34	6
病院（200～399 床）	19	19	0
病院（400 床以上）	6	5	1
診療所	86	77	9
介護老人保健施設	28	28	0
介護老人福祉施設	74	64	10
訪問看護ステーション	22	16	6

○再雇用前と違う業務内容について（自由記載）（複数回答抜粋）

- ・委員会、リーダーを除く看護業務
- ・管理的な役割なし
- ・オンコールなし
- ・業務負担軽減
- ・パート業務

(問 12-2) 再雇用で働いている方の給与についてご記入ください

図表 22 施設別の再雇用後の給与体制

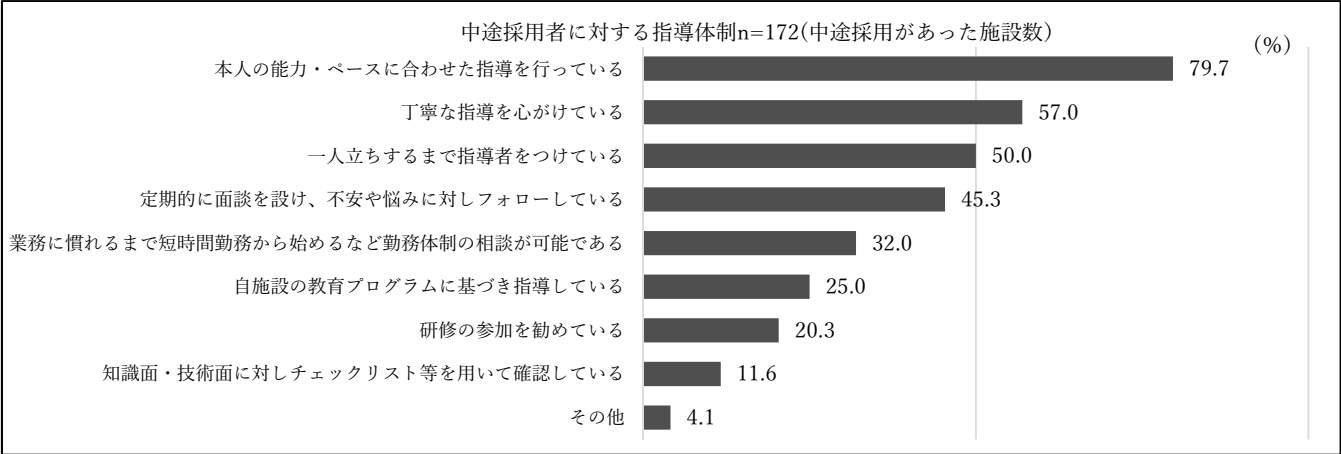


(問 13) プラチナナースの新規雇用を積極的に行っていますか

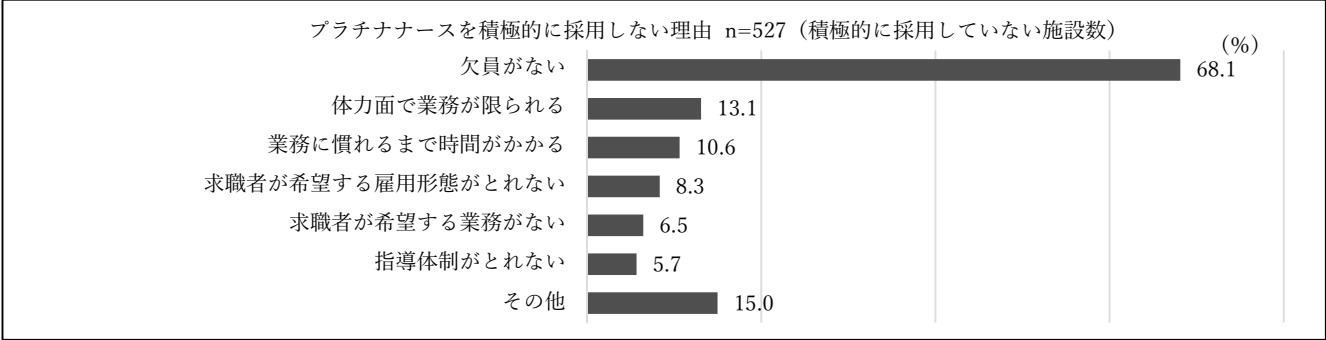
図表 23 施設別のプラチナナースの積極的な新規雇用の有無

施設分類別	回答施設	プラチナナース積極的雇用	
		なし	あり
病院（～199 床）	45	31	14
病院（200～399 床）	19	14	5
病院（400 床以上）	8	6	2
診療所	359	308	51
介護老人保健施設	38	20	18
介護老人福祉施設	156	89	67
訪問看護ステーション	74	59	15

(問 13-1) 中途採用者（プラチナナース含む）に対する指導体制等について当てはまるものをお選びください
 図表 24 施設別の中途採用者（プラチナナース含む）に対する指導体制等 (複数回答可)



(問 13-2) プラチナナースを積極的に雇用していない理由について当てはまるものをお選び下さい (複数回答可)
 図表 25 施設別のプラチナナースの新規雇用を積極的にしていない理由



- その他の意見 (複数回答抜粋)
- ・ 長期就業が見込みづらい
 - ・ デジタル化に対応できないことが多い
 - ・ 求職者、応募者がいない
 - ・ プラチナナースの意味を知らない

(問 14) 看護職の募集活動・広報の取り組みで効果があったことは、どのようなことですか

図表 26 施設別の看護職の募集活動・広報で効果があった取り組み (上位 3 位) (上位 3 つまで複数回答可)

施設分類別	1 位	2 位	3 位
病院 (～199 床) n=45	施設等の見学・体験の受け入れ (57.8%)	有料職業紹介所の利用(40.0%)	ホームページの充実 (施設の PR 等の掲載) (37.8%)
病院 (200～399 床) n=19	・ 施設等の見学・体験の受け入れ ・ 就職ガイダンスや就職フェア等への参加(57.9%)	ホームページの充実 (施設の PR 等の掲載) (52.6%)	ハローワークに求人登録、相談 (42.1%)
病院 (400 床以上) n=8	施設等の見学・体験の受け入れ (75.0%)	ホームページの充実 (施設の PR 等の掲載) (62.5%)	就職ガイダンスや就職フェア等への参加(50.0%)
診療所 n=359	ハローワークに求人登録、相談 (64.9%)	その他(23.4%)	ホームページの充実 (施設の PR 等の掲載) (17.8%)
介護老人保健施設 n=38	ハローワークに求人登録、相談 (68.4%)	有料職業紹介所の利用(47.4%)	施設等の見学・体験の受け入れ (44.7%)
介護老人福祉施設 n=156	ハローワークに求人登録、相談 (57.1%)	有料職業紹介所の利用(35.9%)	施設等の見学・体験の受け入れ (34.0%)
訪問看護ステーション n=74	ハローワークに求人登録、相談 (56.8%)	ナースセンターに求人登録、相談(32.4%)	・ ホームページの充実 (施設の PR 等の掲載) ・ 有料職業紹介所の利(25.7%)

(問 15) 看護職の確保・定着のために取り組んで効果があったことは、どのようなことですか

図表 27 施設別の看護職の確保・定着のために効果があった取り組み（上位 3 位）

（上位 3 つまで複数回答可）

施設分類別	1 位	2 位	3 位
病院（～199 床） n=45	働き手のニーズに合わせた多様な勤務体制の導入(53.3%)	有給休暇の取得しやすさ(42.2%)	・個人の生活背景を考慮した配属先の決定(31.1%)
病院（200～399 床） n=19	有給休暇の取得しやすさ(42.1%)	働き手のニーズに合わせた多様な勤務体制の導入(36.8%)	・福利厚生の充実・施設内研修の充実・外部研修への参加支援・費用補助・既存業務の整理・見直し・業務改善・個人の生活背景を考慮した配属先の決定(21.1%)
病院（400 床以上） n=8	働き手のニーズに合わせた多様な勤務体制の導入(62.5%)	個人の生活背景を考慮した配属先の決定(50.0%)	・既存業務の整理・見直し・業務改善・キャリアや経験を考慮した配属先の決定(37.5%)
診療所 n=359	有給休暇の取得しやすさ(48.2%)	給与・手当の増額(45.4%)	・働き手のニーズに合わせた多様な勤務体制の導入(29.0%)
介護老人保健施設 n=38	働き手のニーズに合わせた多様な勤務体制の導入(44.7%)	有給休暇の取得しやすさ(39.5%)	・給与・手当の増額・休暇制度の充実・既存業務の整理・見直し・業務改善(21.1%)
介護老人福祉施設 n=156	有給休暇の取得しやすさ(42.3%)	働き手のニーズに合わせた多様な勤務体制の導入(35.9%)	給与・手当の増額(27.6%)
訪問看護ステーション n=74	有給休暇の取得しやすさ(62.2%)	働き手のニーズに合わせた多様な勤務体制の導入(43.2%)	・外部研修への参加支援・費用補助・既存業務の整理・見直し・業務改善(18.9%)

○その他の意見（複数回答抜粋）

- ・職員、知人からの紹介
- ・取り組みをしていない

(問 15-1) 「働き手のニーズに合わせた多様な勤務体制の導入」と回答の施設は具体的にどのような働き方を導入していますか（複数回答可）

図表 28 施設別の働き手のニーズに合わせた多様な勤務体制の内容（上位 3 位）

施設種別	1 位	2 位	3 位
病院（～199 床） n=24	短時間パート(66.7%)	日勤のみ正規職員(50.0%)	夜勤専従(45.8%)
病院（200～399 床） n=7	短期間での雇用(71.4%)	短時間パート(57.1%)	日勤のみ正規職員(42.9%)
病院（400 床以上） n=5	夜勤専従(100%)	夜勤時間の選択(80.0%)	短時間パート(40.0%)
診療所 n=104	短時間パート(66.3%)	その他(20.2%)	日勤のみ正規職員(16.3%)
介護老人保健施設 n=17	短時間パート(82.4%)	日勤のみ正規職員(35.3%)	短期間での雇用(29.4%)
介護老人福祉施設 n=56	短時間パート(67.9%)	日勤のみ正規職員(25.0%)	その他(21.4%)
訪問看護ステーション n=32	短時間パート(50.0%)	日勤のみ正規職員(28.1%)	その他(15.6%)

○その他の意見（複数回答抜粋）

- ・夜間オンコールの外部委託
- ・取り組みをしていない
- ・法人内での異動

(問 15-2) 「短時間パート」と回答した施設では、どのような業務をしてもらっていますか（自由記載）

（複数回答抜粋）

- ・午前のみ、午後のみ
- ・曜日指定、時間指定
- ・個人の希望の曜日、時間に沿った時間帯可
- ・2 時間から可能

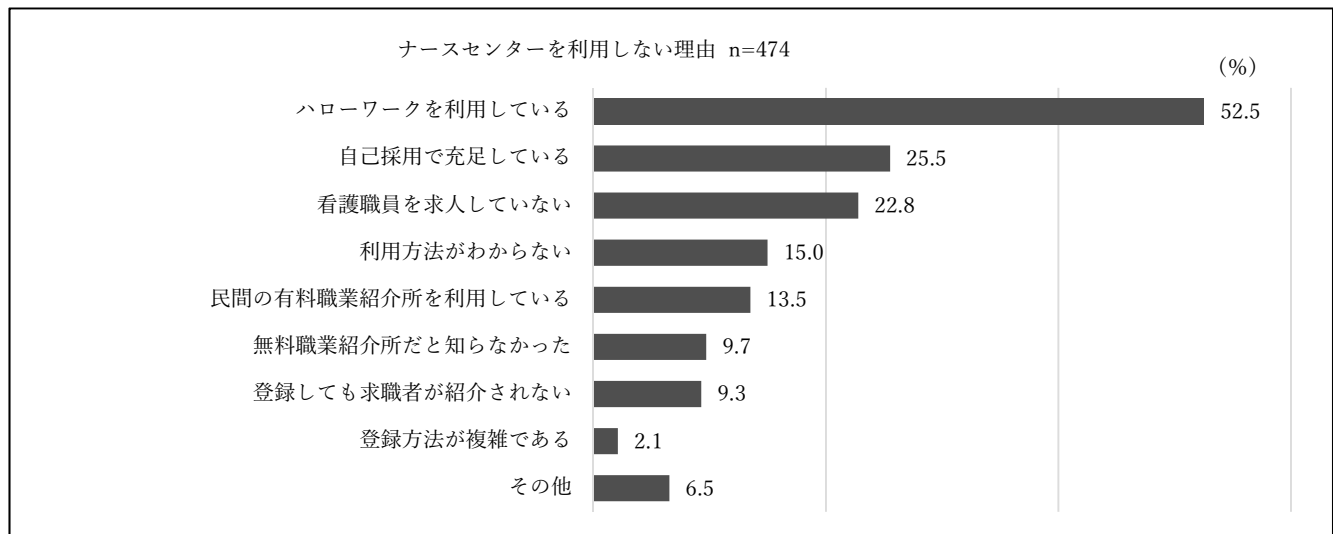
(問 16) ナースセンターに求人登録したことがありますか

図表 29 これまでナースセンターに求人登録したことの有無

	全体	ある	以前利用したことがある	ない
施設数	699	225	95	379
割合 (%)	100.0	32.2	13.6	54.2

(問 16-1) ナースセンターに求人登録をしない理由をすべてお選び下さい。(複数回答可)

図表 30 ナースセンターを利用しない理由(複数回答)



(問 17) 貴施設が求人する際の PR ポイントとして特に当てはまるもの上位 3 つまでお選びください

図表 31 施設別の貴施設が求人する際の PR ポイント (上位 3 位) (上位 3 つまで複数回答可)

施設分類別	1 位	2 位	3 位
病院 (～199 床) n=45	・残業が少ない ・休暇が取りやすい(60.0%)	ブランク・中途の積極的雇用 (51.1%)	人間関係が良い(42.2%)
病院 (200～399 床) n=19	・教育体制の充実 ・人間関係が良い(47.4%)	・残業が少ない ・ブランク・中途の積極的雇用 (42.1%)	休暇が取りやすい(36.8%)
病院 (400 床以上) n=8	教育体制の充実(87.5%)	休暇が取りやすい(50.0%)	・人間関係が良い ・ブランク・中途の積極的雇用 (37.5%)
診療所 n=359	残業が少ない(54.0%)	休暇が取りやすい(49.9%)	人間関係が良い(46.5%)
介護老人保健施設 n=38	残業が少ない(65.8%)	ブランク・中途の積極的雇用 (52.6%)	休暇が取りやすい(47.4%)
介護老人福祉施設 n=156	休暇が取りやすい(51.9%)	残業が少ない(50.0%)	人間関係が良い(39.7%)
訪問看護ステーション n=74	人間関係が良い(66.2%)	休暇が取りやすい(54.1%)	残業が少ない(47.3%)

(問 18) ご意見ご要望 (複数回答抜粋)

- ・有料職業紹介所は高額で経営を圧迫している。ナースセンターやハローワークで求人ができるといい。
- ・有料職業紹介所を利用する求職者が多く、紹介のほとんどが有料職業紹介所である。

(問 19) 次回 (令和 8 年度実施予定) の調査について、紙での回答を希望しますか

	全体	紙での回答を希望	Web 回答でよい
回答数	699	89	610
割合 (%)	100	12.7	87.3

IV 再就業移動相談事業

1 目 的

ナースセンターから遠い地域や平日に来所できない就業希望者の就業を促進するため、地域に出向き相談会を実施し、ナースバンクへの登録及び就業を促進する。

2 実施状況

開催月日	イベント名	主 催	会 場	参加者数	相談件数
4月21日	福祉のしごと就職フェア in 新潟	新潟県、新潟県社会福祉協議会他	朱鷺メッセ	118	4
6月9日	福祉のしごと就職フェア in 長岡	新潟県、新潟県社会福祉協議会他	ハイブ長岡	37	1
6月24日	福祉のしごと就職フェア in 上越	新潟県、新潟県社会福祉協議会他	上越市市民プラザ	15	1
11月11日	介護就職デイ	新潟公共職業安定所	新潟テクノスクール	48	3
5月22日	U・Iターン就職個別 オンライン相談会	新潟県	相談者・県・ナースセンター(Zoomにて)	1	1
計	5回				10

V ナースセンター事業運営協議会

1 目 的

新潟県ナースセンター事業の円滑かつ効果的な運営を行うために、新潟県関係機関の職員をメンバーとして運営会議を設置し、事業の運営状況や今後に向けた検討、情報交換を行う。

2 委員名簿（令和7年3月31日現在）

役 職	氏 名	所 属 先	所属先役職
委員長	池田 良美	公益社団法人 新潟県看護協会	会長
副委員長	中丸 昌雄	新潟県福祉保健部 医師・看護職員確保対策課	課長
委員	中平 浩人	新潟県医師会 新潟青陵大学大学院看護学研究科	理事 教授
委員	阪井 敏男	新潟県病院協会	事務局長
委員	渡辺 充朗	新潟労働局職業安定部職業安定課	課長
委員	松井 裕	新潟県老人福祉施設協議会	副会長
委員	高橋 直美	新潟県訪問看護ステーション協議会	常任理事
委員	大島 紀子	新潟市民病院	副院長・看護部長
委員	深澤 恵	医療法人立川メディカルセンター	看護部長

3 開催状況

- 1) 開催月日 令和7年1月14日(火)
- 2) 会 場 公益社団法人新潟県看護協会 2F 中研修室
- 3) 内 容
 - (1) 新潟県ナースセンター令和6年度事業報告および令和7年度計画(案)
 - (2) 令和6年度看護職員需要施設実態調査結果
 - (3) 日本看護協会委託事業「看護補助者の確保・定着推進事業」
 - (4) 課題に対する意見交換
 - ・再就職につながる勤務形態の取り組みをしている施設の好事例について
 - ・ナースセンター事業への理解を深め、利用者を増やすための方策について
 - (5) 今後のナースセンター事業運営協議会について

VI 広報活動

1 目 的

ナースセンターの認知度向上及び登録促進のため、訴求力のある広報を実施する。

1) 「ナースセンターだより」の発行

- (1) 発行回数及び時期 年1回 2月(第59号)
- (2) 主な送付先
 - ・ナースセンター登録者
 - ・病院、診療所、介護施設、訪問看護ステーション、看護学校養成所
 - ・新潟県医師会、新潟県病院協会、新潟県労働局職業安定課、県内ハローワーク
 - ・新潟県医師・看護職員確保対策課、保健所、市町村
 - ・ナースセンター事業運営協議会委員、各都道府県ナースセンター など
- (3) 発行部数 2,450部
- (4) 内 容
 - ・ごあいさつ/令和6年度 看護の日事業
 - ・ナースセンター事業実績
 - ・看護師等の離職時等の「届出」制度について
 - ・看護職員再就職支援セミナー
 - ・ハローワーク連携事業
 - ・「看護職の労働環境相談」してみませんか?
 - ・看護職のためのポータルサイト NuPS(ナップス) って?
 - ・令和6年度看護補助者の確保・定着推進事業
 - ・訪問看護就業支援プログラム事業
 - ・令和6年度 看護職員需要施設実態調査
 - ・新潟県ナースセンター支所・相談窓口紹介、ナースセンターからお知らせ

2) 新潟県看護協会広報誌 看護にいがた

(1) 発行時期

令和6年5月158号、令和6年8月159号、令和6年11月160号、令和7年2月161号

(2) 内 容

上記各号にて：ハローワークとの連携施設訪問、看護補助者の確保事業、NuPS、実態調査、看護師等免許保持者の届出制度について 等報告

看護職員再就業支援強化事業

I 看護職員再就業支援セミナー

1 目的

未就業看護職を対象として、看護に関する基礎的な知識および技術に関するセミナーを実施し、再就職を支援する。

2 対象者

再就職を希望する保健師、助産師、看護師、准看護師の資格をもつ未就業者

3 実施内容

1) e ラーニング：看護職向けの講義等のネット配信サービス

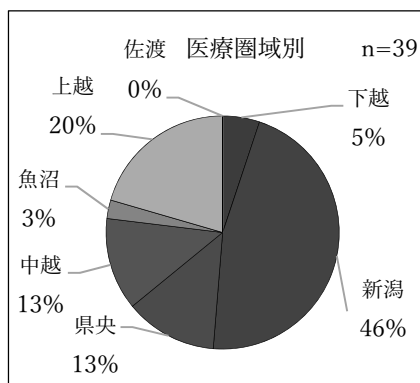
(1) 実施期間：令和6年5月1日～令和7年3月31日

(2) 受講者の状況

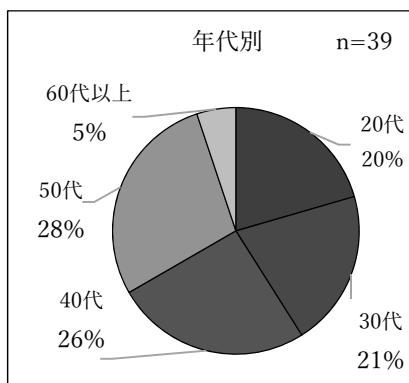
①受講者数と就職者数

受講者数	就職者数（就職率）
39	21 (53.9%)

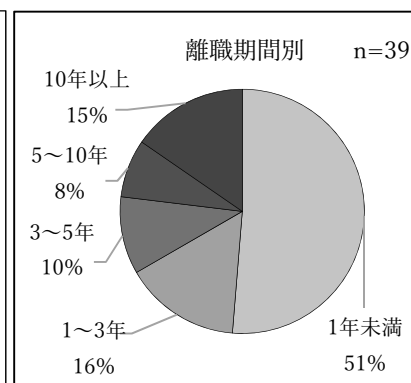
②医療圏域別



③年代別

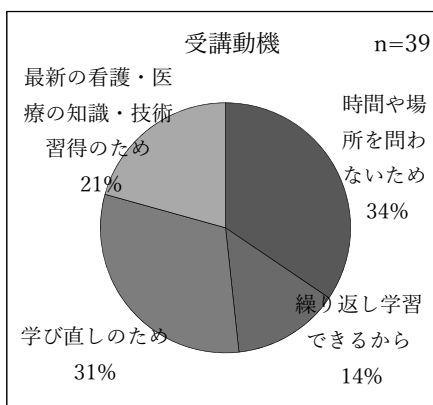


④離職期間別

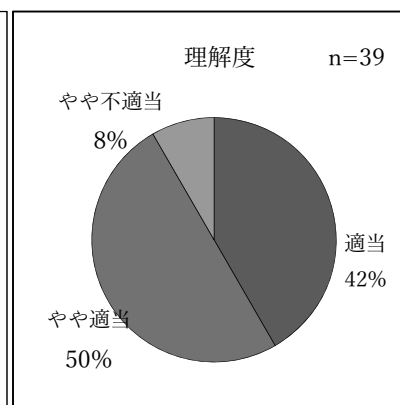


(3) 受講者アンケート結果

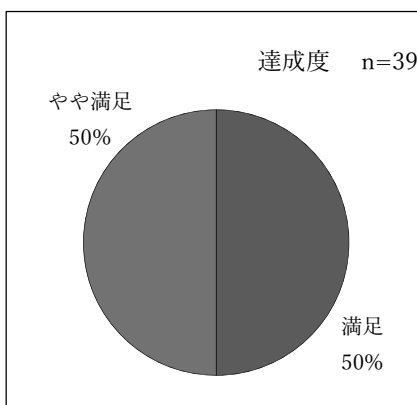
①受講動機



②理解度



③自己課題の達成度



④受講者の感想 ※一部抜粋

- ・育児の合間やすきま時間に、自分のペースで学びなおしができて良かった。不安だった事も再確認ができ自信になった。復習とアップデートが同時にでき、受講して良かった。
- ・ブランクが長く不安があるが、動画を視聴することで雰囲気を感じることができた。
- ・いつでも見られるという安心感から、意外と早く受講期間が過ぎてしまった。

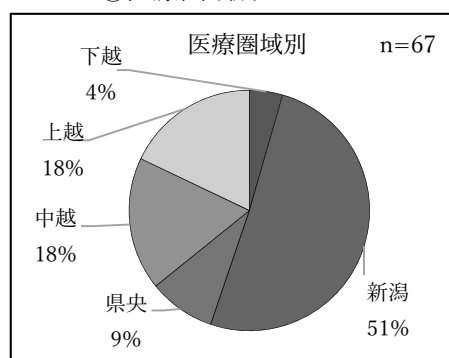
2) 基礎1日コース：基礎的な講義や採血等の技術演習と情報交換

(1) 受講者の状況

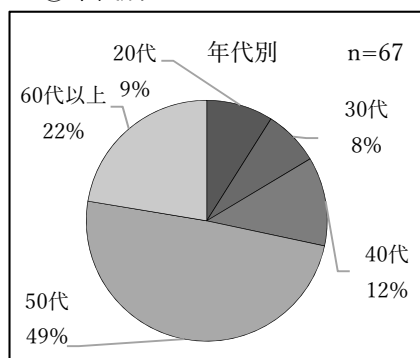
①実施内容及び受講者数と就職者数

開催日	会場	講習科目	受講者数	就職者数
7月17日	さいわいプラザ (長岡市)	ナースセンターについて、求人情報・再就職支援について、情報交換会	5	3
8月28日	新潟県看護研修センター (新潟市)	セカンドライフに備える生活設計、プラチナナースに期待されること～病院・介護・訪問看護の現場から～、情報交換会	15	9
9月5日	新潟県看護研修センター (新潟市)	看護の動向、採血・点滴の基礎看護技術、情報交換会	22	12
10月3日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター (新潟市)	看護の動向、フィジカルアセスメント、急変時の対応、情報交換会	12	5
10月23日	さいわいプラザ (長岡市)	セカンドライフに備える生活設計、情報交換会	5	0
10月29日	上越市市民プラザ (上越市)	セカンドライフに備える生活設計、情報交換会	8	7
計			67	32

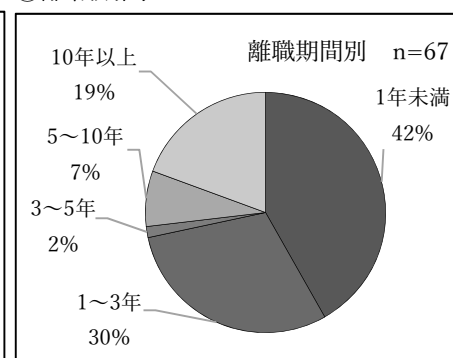
②医療圏域別



③年代別

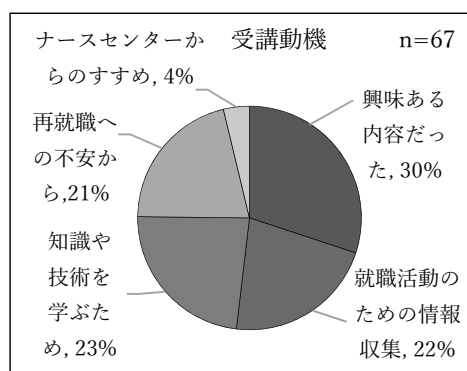


④離職期間

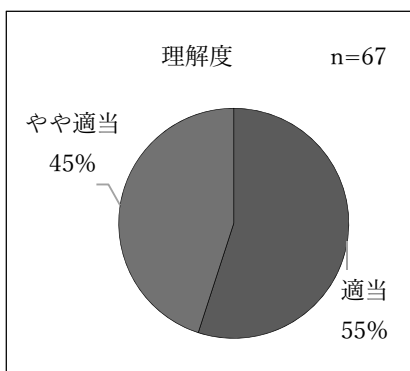


(2) 受講者アンケート結果

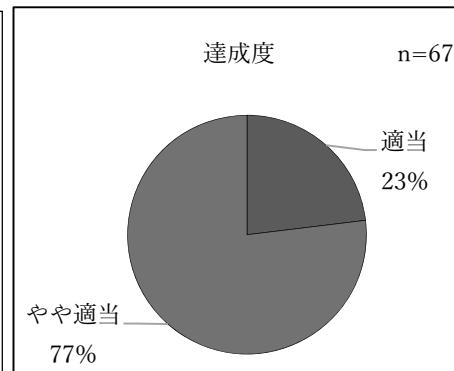
①受講動機



②理解度



③自己課題の達成度



④受講者の感想 ※一部抜粋

- ・自身のライフスタイルに合わせた働き方を考える機会になった。働いてみようという勇気が出た。
- ・プラチナナースが頑張っている様子や他の参加者の話を聞いて、また看護に関わりたくなった。
- ・60代のナースがたくさん活躍している様子を知ることができ、素晴らしいと思った。
- ・一年で訪問看護を退職したが、少し心残りがあることに気づかされた。
- ・すごく緊張していたが、スタッフや参加者の皆さんが優しくて良かった。再就職への自信が持てた。
- ・自分の知識や技術の不足に気づき、今後自己学習していきたいと思えるようになった。
- ・忘れていたことを思い出し、新たな知識も学ぶことができた。充実した時間だった。

3) 復職体験コース：医療及び介護福祉施設等での実習体験

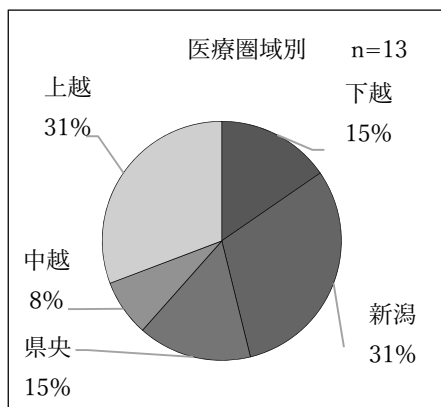
(1) 実施期間：令和6年5月1日～令和7年2月28日

(2) 受講者の状況

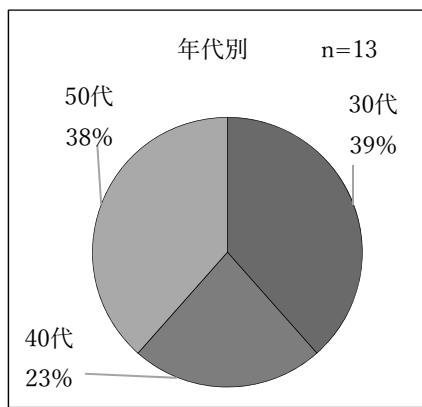
①受講者数と就職者数

開催日	医療圏域	体験施設	受講者数	就職者数
5月29・30日	新潟	西蒲中央病院みさと訪問看護ステーション	1	1
6月17・19日	新潟	新潟南訪問看護ステーション	1	1
6月25日	新潟	はまなす訪問看護ステーション	1	1
6月13・25日	新潟	にいがた訪問看護ステーション	1	1
7月2日	新潟	しろね訪問看護ステーション	1	0
7月3日	中越	特別養護老人ホームケアガーデン新幸	1	0
8月29日	中越	訪問看護ステーションみつけ	1	1
9月17日	上越	特別養護老人ホーム新光園	1	1
9月27日	上越	知命堂病院・老人保健施設くびきの	1	1
12月3日	上越	ツクイ上越栄町	1	1
12月9日	中越	訪問看護ステーションつくし	1	1
1月23日	下越	特別養護老人ホームコンフィ陽だまり苑	1	0
2月5日	下越	特別養護老人ホーム村上まごころの里	1	0
計			13	9

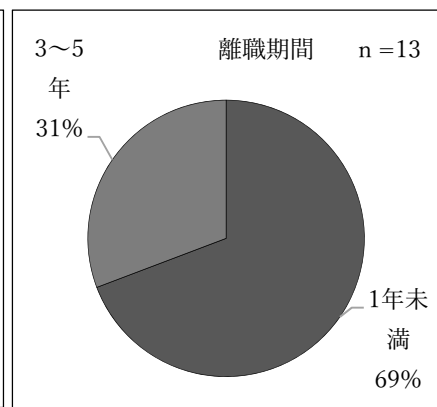
②医療圏域別



③年代別

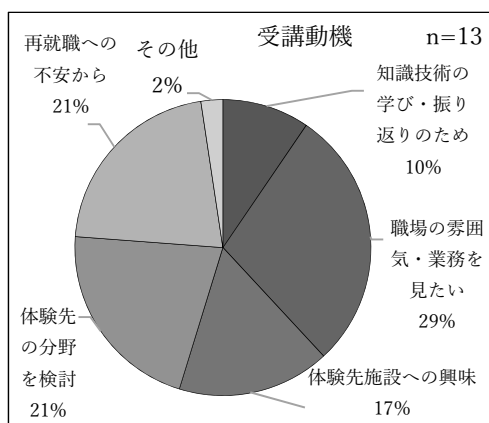


④離職期間

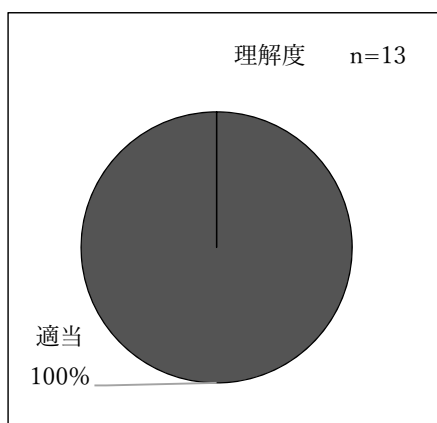


(3) 受講者アンケート結果

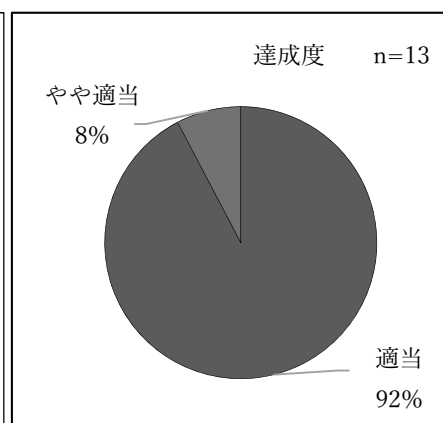
①受講動機



②理解度



③自己課題の達成度



④受講者の感想 ※一部抜粋

- ・施設がとてもきれいだった。特養での看護業務が想像していたものと違い、新鮮なものに感じられた。
- ・職員と利用者様とのやりとりそのものがキラキラとしていて、この仕事を楽しそうにされている姿を見ることができ、復帰してみたいと思った。たくさんの学びと気づきを、ありがとうございました。
- ・訪問時の関わり方やイメージがついた。タブレットの活用により、記録物が少なくなり、残業も少ないとわかった。
- ・病院以外の職場を経験したことがなかったため、特養の看護師の仕事内容や役割、介護やリハビリ等の多職種との連携を、体験を通して感じることができ、あいまいだったイメージが明確化された。経管栄養や浣腸・衣服の着脱・整容も体験して、色々と復習することができたので、ケアに関する不安が解消された。時間配分も無理なく設定していただいたため、ゆっくり体験できて良かった。
- ・スタッフのみなさんが温かく迎えてくださって、復職体験がとてもしやすかった。シミュレーターを使用した採血・点滴留置・導尿を行い、手技の確認を行うことができ、技術面の不安は解消された。

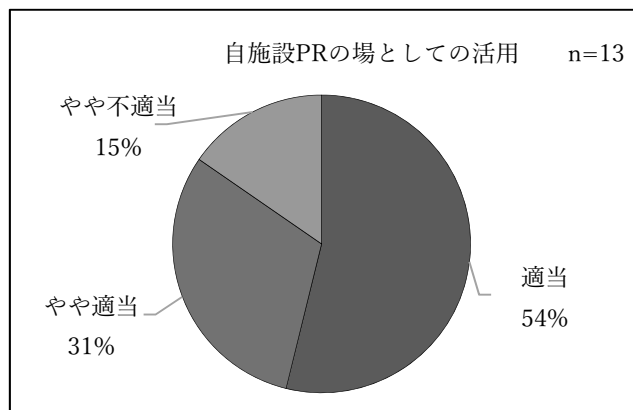
(4) 受入施設アンケート

①受入協力の理由

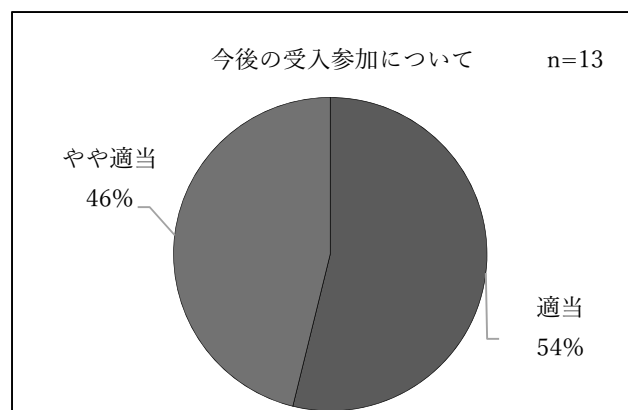
- ・訪問看護について興味を持ってもらいたい、多くの看護職に知ってもらいたいと思ったから。
- ・高齢者施設において看護師は大変重要な役割を持っており、介護職員同様なくてはならない人材である。看護職から離れていた方でも、復職体験を通す中で、看護職として勤めていける自信がもてる、もう一度看護職として勤めてみたい、と感じてもらえれば、当施設に限らず将来的に地域の高齢者福祉にとって重要な意味を成すと思ったから。

- ・地域の潜在看護師が復職するために、少しでも自信を持って一步を踏み出すことができるように、就業している私たち看護職が応援できることを考えている。
- ・採用につながる出会いがあればと思った。病院で行う「医療」ではなく、介護施設だから行える「看護」を知っていただける機会になれば、と思ったから。

②自施設の PR の場として活用できたか



③今後も受入施設として参加したいか



④協力施設の感想 ※一部抜粋

- ・体験終了後、体験者から「訪問（仕事）って楽しいものだったということを思い出した。訪問看護に戻ろうかな、と思えた」との感想が聞かれ、前向きな気持ちへのお手伝いができ嬉しかった。私たちスタッフのモチベーションの向上につながった。
- ・当施設の看護職もよい学習の機会となったと感じている。今後も多くの方が看護職として復職していただけるお手伝いできれば幸い。
- ・看護師不足の中、潜在看護師が少しでも安心して現場復帰する支援を行うことは、自施設のみならず、看護職として貢献できることである。広い視野を持ちかかわることが重要であることを担当看護師に伝え、理解してもらえたと感じている。担当看護師も、マニュアルに沿って指導することや、シミュレーターを使用するなど基本に立ち戻り指導する経験ができたので、良い学習の場となった。
- ・今回のことを活かして、今後の受け入れ等に活かしていきたいと思う。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

4 成果

受講者アンケート結果より、理解度について、eラーニングでは92%、基礎1日コース・復職体験コースでは100%であった。自己課題の達成度について、3コースすべてにおいて100%であった。

外部会場（駐車場あり）で開催することにより、受講者の負担が軽減したためか、受講定員以上の申込があった。

基礎コース内で行う情報交換会への満足度も高く、さらに「看護職が再就職し活躍できる場の情報がほしい」との声も多いため、情報提供・情報共有は求職者にとって有効な機会であると考えられる。

5 課題

受講者アンケートでは、理解度・自己課題の達成度ともに高評価であるが、さらなる受講者確保・就職者数増のため、受講しやすい環境整備（駐車場の確保等）、さらなる就職への動機づけが課題である。

Ⅱ ナースセンター・ハローワーク連携事業

1 目的

医療スタッフの人材確保が喫緊の課題となっている中、ナースセンター、及び労働局・公共職業安定所との連携・協働することにより、看護職のマッチングの機能の強化を図り、職業相談、職業紹介などの就職支援をする。

2 事業内容

1) 看護職員再就業支援相談会

(1) 会場・開催時間

県内のハローワーク 13 ヵ所・13 時 30 分～15 時 30 分

※長岡：10 時～12 時、南魚沼：9 時～11 時

(2) 申込先

各ハローワーク窓口

(3) 方法

相談時間は 1 人 30 分の完全予約制で 1 回 4 人までとして実施した。

(4) 実施状況

	開催予定数 (回)	開催実数 (回)	相談者数 (人)	利用率 (%)
ハローワーク新潟	9	9	30	83.3
ハローワーク長岡	12	11	25	52.1
ハローワーク上越	5	4	6	30.0
ハローワーク三条	12	12	33	68.8
ハローワーク柏崎	3	1	1	8.3
ハローワーク新発田	12	10	23	47.9
ハローワーク新津	6	6	22	91.7
ハローワーク十日町	2	1	1	12.5
ハローワーク糸魚川	2	0	0	0.0
ハローワーク巻	6	3	8	33.3
ハローワーク南魚沼	2	1	1	12.5
ハローワーク佐渡	2	2	3	37.5
ハローワーク村上	4	3	5	31.3
合計	77	63	158	51.3

※相談者 158 人（実数 139 人）のうち、109 人が e ナースセンターに登録し、92 人が届出制度に登録した。

また、3 月末までに 27 人が就職した。

(5) 相談者の内訳（保有資格全部）

資格 年代	保健師	助産師	看護師	准看護師	無資格	合計
20 歳代	3	2	12	2	1	20
30 歳代	5	1	23	1	0	30
40 歳代	2	0	17	4	0	23
50 歳代	0	2	47	18	1	68
60 歳代	1	2	31	11	0	45
合計	11	7	130	36	2	186

2) 連絡調整会議の設置

(1) 第1回

日 時：令和6年6月5日
 場 所：ハローワーク新潟 2階会議室
 内 容：令和5年度実績報告
 看護補助者の確保・定着推進事業について
 令和6年度事業計画について
 情報交換

(2) 第2回

日 時：令和6年10月9日
 場 所：ハローワーク新潟 2階会議室
 内 容：令和6年度上半期実績報告
 看護補助者の確保・定着推進事業について
 令和7年度事業計画について
 情報交換

(3) 第3回

日 時：令和6年2月5日
 場 所：ハローワーク新潟 2階会議室
 内 容：令和6年度実績報告
 令和7年度事業計画について
 情報交換

3) ケース会議の開催

日 時：ハローワーク新潟での再就職支援相談会後に開催
 回 数：7回

4) 求人・求職者の情報共有

- (1) 台帳登録の求職者数：7人、台帳登録求人施設数：14施設
- (2) 台帳登録者7人中、6人が就職

5) ハローワーク連携開催セミナー

(1) 看護の就職応援セミナー in 新潟

日 時：令和6年9月9日

内 容：介護・福祉施設で働く看護職の仕事内容や特長、働き方について

講 師：社会福祉法人にいがた寿会 特別養護老人ホームはんだい桜園 園長補佐 真部和彦
社会医療法人仁愛会 介護老人保健施設千歳園 看護師長 小田祐子
株式会社鶴寿会 デイサービスパーソナルリハ道場 管理者 渡部 聡

参加数：34人

(2) 看護の就職応援セミナー in 長岡

日 時：令和6年12月17日

内 容：介護福祉施設で働く看護のお仕事

講 師：社会福祉法人 長岡三古老人福祉会 介護老人保健施設てらどまり

主任看護職員件介護支援専門員 木村勝一

参加数：7人

6) ハローワーク連携施設訪問

(1) 目的

各施設の意向や現状を把握することにより、具体的な求職者へ情報提供を行い、かつ求人側へも好まれる就職要件などを提示しマッチングの促進を図る。

(2) 施設選定

ハローワーク新潟に看護職求人が出ている病院、健康管理施設等

(3) 方法

①施設選定

②電話予約を取る（ハローワーク新潟就職コーディネーターより）

③訪問 訪問時間はおおむね40分～60分、ヒアリングシートをもとに情報収集

(4) 実施状況

病院：1施設（新潟信愛病院）

介護福祉施設：9施設

- ・複合施設 あたごの杜坂井
- ・デイサービスセンター ばんだい桜園
- ・住宅型有料老人ホーム 新潟ホスピスひばりヶ丘
- ・特別養護老人ホーム 白鳥の里
- ・特別養護老人ホーム 松風園
- ・特別養護老人ホーム 美咲の里
- ・特別養護老人ホーム なかかんの里
- ・特別養護老人ホーム うちの桜園
- ・住宅型有料老人ホーム グランカーム黒埼

「看護の心」普及事業

I 看護の日事業 市民公開フォーラム

看護の日事業は「思いやり・支え合い・命の大切さ」をコンセプトにいつでも、どこでも、だれにでも、「看護の心をみんなの心に」を広く普及することをねらいとする。

- 1 日 時 令和6年5月11日(土) 13時30分～15時30分(開場12時30分)
- 2 会 場 新潟グランドホテル
- 3 実施主体 主催：公益社団法人 新潟県看護協会
- 4 後 援 新潟県・第四北越証券株式会社・東洋羽毛北信越販売株式会社・一般社団法人新潟県医師会・新潟県訪問看護ステーション協議会・新潟県在宅ケアを考える会・社会福祉法人新潟県社会福祉協議会・社会福祉法人新潟市社会福祉協議会・公益社団法人新潟県栄養士会・一般社団法人新潟県老人福祉施設協議会・一般財団法人新潟県老人クラブ連合会・公益財団法人新潟県健康づくり財団・公益社団法人新潟県理学療法士会・公益社団法人新潟県作業療法士会・一般社団法人新潟県臨床工学技士会・公益社団法人新潟県薬剤師会・BSN新潟放送・NST新潟総合テレビ・TeNYテレビ新潟
- 5 内 容 参集開催 13:30 体験発表
 - ・看護職員「“これが看護だ”と感じた忘れられないこと」1人
 - ・一般市民「忘れられない看護師さん」1人
 - ・高校生一日看護師体験発表 2校より2人ずつ14:20 特別講演 テーマ「命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる～」
講 師 腰塚 勇人
<同時開催>お子様白衣着用体験、各種健康測定、健康相談、写真の展示
- 6 参加人数 計36名 一般参加：20名、看護職参加：16名(看護協会員4名)
- 7 結 果 アンケート回収率41.7% 40代が参加者の半数以上を占めた
満足度と理解度は100%であった
- 8 課 題 会場は150席設けていたが、参加人数が36名と少なく、周知・集客方法が課題といえる

II 看護の出前授業

- 1 日 時 令和6年5月14日(火) 14時10分～16時10分
- 2 場 所 村上市総合文化会館(村上市岩沢5668)
- 3 内 容 看護職の仕事、看護職への道、命の大切さ、看護学校紹介等
- 4 講 師
 - ・村上看護専門学校 教 員 藤井 純
 - ・厚生連村上総合病院 助産師 佐藤 佐智子
 - ・村上市神林支所 保健師 千葉 麻里
 - ・村上市岩船郡医師会訪問看護ステーションふる里 看護師 太田 英子
- 5 参 加 者
 - ・村上第一中学校3年生 58名
 - ・荒川中学校3年生 67名
 - ・関川中学校3年生 40名
 - ・神林中学校3年生 48名
 - ・朝日中学校3年生 40名
 - 計 253名※他、引率教員1～2名
- 6 取 材 村上新聞社、新潟日報社村上支局、岩船新聞社、朝日ケーブルテレビ
- 7 結 果 アンケート回収率85.3% 95.1%が「命の大切さについて考えるきっかけになった」と回答。
65.6%が「看護の仕事に興味をもった」と回答した。
支部と協力して授業内容の決定等を行ったが、当日の演習目的、演習方法の説明が不十分であり、また、同時に複数の体験を行ったため会場は騒然とした雰囲気になる場面があった。
- 8 課 題
 - ・事前の打ち合わせを十分に行い、スムーズな運営に努める
 - ・看護の仕事に興味をもってもらえるような内容の検討に努める

Ⅲ 高校生一日看護師体験事業

1 目 的

高校生が病院において、看護師の業務を体験することにより、看護に対する認識と理解を深めるとともに、進路の選択にあたり看護職を志す動機づけの一助とする。

2 対 象 者 県内の高等学校生で看護職を希望する者

3 実施期間 令和6年7月29日（月）～令和6年8月22日（木）

4 実施施設 県内96病院（受入可能97病院中、体験者欠席による実施無1病院）

5 実施内容 車椅子移送・ストレッチャー体験、オペ室・CT室での模擬体験、バイタル測定、模擬腕による留置針の穿刺、医療機器に触れる、手術室体験、手指消毒の演習、外来・病棟・介護施設・訪問看護等の各部署見学、食事配膳、奨学金制度説明、先輩看護師との座談会、記念撮影、アンケート回答 等

6 参加人数 単位：人

申込人数	決定人数	参加人数	欠席人数
1,307	894	828（内男子 73）	66

7 3年生の進学先（令和5年度参加者） 単位：人

参加人数（3年生）	看護系大学・短大	看護専門学校	看護系以外の医療系
540	263（48.7%）	193（35.7%）	84（15.5%）

8 結 果

- ・新型コロナウイルスの影響により、縮小開催および中止した病院があった。
- ・実施当日に体験者が欠席したため、急遽実施の無くなった病院があった。
- ・参加生徒のアンケートより、96.8%（798人）の学生が「とても満足」したと回答し、理想とする看護師像の具体的なイメージを持つ事が出来た、「看護師」という職業の幅広さと魅力に触れる事ができた、患者さまの身近で生活をサポートする職業だと感じられた、等の感想がよせられた。一方で、「あまり満足できなかった」「満足できなかった」という回答も0.4%（3人）あり、体験がもっとあると良いとの事であった。
- ・受入病院のアンケートより、体験者が職業選択をするための一助となる様な内容を実施できたか、という設問には68%が「そう思う」32%が「ややそう思う」と回答があり、普段見せることのない病院内部の見学を実施し看護師と多職種との関りについて理解してもらえる機会となった、現場で働く若い看護師の話を聞く機会を設けたことで参考になったのではないかと、等の意見があった。
- ・受入病院の方では、準備や当日の運営に多くの時間を要しマンパワー不足で大変であるが将来の看護師増にむけ頑張りたい、with コロナ時代であることを踏まえ学生へインパクトを与える内容を検討したい、等、課題も多い中実施していただいた。

9 課 題

- ・申込人数に対して参加できる人数が少なく、学校側から受入増の要望もあるため検討が必要である。
- ・体験参加を無断欠席する生徒が毎年一定数おり、病院に多大な迷惑が掛かっている実態があるため、欠席連絡等の徹底化について検討が必要である。
- ・病院側の事務負担が多いという声があるため、事務作業の簡略化について検討が必要である。

日本看護協会委託事業

I 看護補助者の確保・定着推進事業

1 事業経過

4月	県内病院（117）「看護補助者確保に関する実態調査実施：「不足している」62.3%（53施設）
5月	令和6年度看護補助者確保に関する方針を決定し看護補助者のしごとの周知に絞って活動
6月	ホームページに、看護補助者の関連情報を掲載開始（随時、更新）
8月	“看護補助者のしごと説明会”の準備・周知、リーフレット送付
10～11月	ナースセンター・ハローワーク共催“看護補助者のしごと説明会” 9会場 10回開催
11～12月	看護補助者のオンデマンド配信研修実施：個人研修・集合研修

2 看護補助者のしごと説明会

1) 目的

病院等ではたらく看護補助者（看護助手）の仕事を知りたいと思っている一般の方を対象に説明会を開催し、看護補助者のしごとを理解し、就業への動機づけの機会とする。

2) 各会場の申込者数と参加者数

開催日	開催会場	申込者数	参加者数
10月1日（火）	ハローワーク新潟①	10	6
10月2日（水）	ハローワーク上越	9	7
10月4日（金）	ハローワーク新発田	5	5
10月8日（火）	三条労働基準監督署	4	4
10月18日（金）	ハローワーク佐渡	2	2
10月28日（月）	ハローワーク南魚沼	8	7
10月29日（火）	ハローワーク新潟②	14	12
10月29日（火）	ハローワーク長岡	6	5
11月14日（木）	ハローワーク柏崎	6	5
11月22日（金）	ハローワーク新津	11	8
計		75	61



※参加者（61人）の内訳

男性：2人、女性：59人

年代：20代 3人 30代 5人

40代 8人 50代 26人

60代以上 19人

3) アンケート結果

- ・参加動機は、1位が「興味があったから」次に「就活の情報収集」であった。
- ・内容の評価としては、講義「看護補助者の役割や業務内容」は、「大変理解できた」64%「まあまあ理解できた」36%、看護補助者の体験談は、「大変参考になった」80%（49人）と好評であった。
全体の満足度は、「大変満足」67%「まあまあ満足」33%を併せると100%と高評価であった。
- ・「具体的な説明や写真、実際に働いている方のやりがいなどお聞きできてよかった」「実際に働く上での心情や他のスタッフの様子がよく理解できイメージができた」など、多くの感想があった。

3 看護補助者のリーフレット

- ・日本看護協会作成の看護補助者リーフレットを、各ハローワークや県内病院に送付した。

4 オンデマンド配信研修

1) 内容：医療チームの機能と役割（30分）看護補助者の業務（30分）看護補助者としての心得（30分）

2) 方法と参加人数

① 自己研修（eラーニング）

第1期：1人、第2期：5人

② 集合研修（3ヶ所）

上越：0人、長岡：1人、新潟：1回目3人、2回目1人

*11人すべてに「修了証」発行済

5 結果（成果）

- ・一般者を対象にした事業であったが、ハローワークから求職者への説明会の紹介、駅にポスター掲示、病院への看護補助者のリーフレット送付等により、各会場一定数の参加者を確保できた。アンケート回収率は100%で、意見交換の場や看護補助者からの体験談は、仕事内容の理解と個別の不安解消に繋がり好評であった。労働局職業安定課からの情報によると、参加者61名のうち12月末で3名が病院に就職した。

6 課題

- ・看護補助者の仕事をよりイメージできるよう開催場所や内容を検討する。
- ・一般者が、看護補助者の事業について情報が得られるように、県のホームページとの連動やハローワークとの連携強化に努め、求職者への周知・協力を得る。
- ・看護補助者の無料職業紹介実施に向けて準備・検討する。

II 地域に必要な看護職確保推進事業

1 目的

各都道府県看護協会・ナースセンターが県行政とともに、課題解決に向けた取り組みを実施することにより、地域別・領域別偏在の是正を図る。

2 事業実績

1) 介護・福祉施設に関する知識や看護職の役割を知ることができるリーフレット、プラチナナース向けのリーフレットの作成（各700部）。

介護福祉施設への就業を検討している看護職、ハローワークでの看護職員再就業支援相談会参加者、再就業支援セミナーの受講者、eナースセンター登録者等へ配布し、説明を行った。



2) 介護・福祉施設を知るためのセミナー開催

実施日：令和6年7月24日（水）

内容：介護・福祉の現場で働くために必要な知識と心構え

講師：社会福祉法人 ジェロントピア新潟

特別養護老人ホーム ジェロントピア新潟 看護師長 五十嵐聖子

受講者数：10人

3 成果・課題

昨年度のナースセンター実績と比較し、介護・福祉施設への就職者数は増加した。

今後も介護・福祉施設の看護職確保へのニーズに応えられるよう、同様のセミナー開催を継続する。